

**荒川区 指定管理者
平成23年度分 実績評価結果**

平成24年9月

荒川区

目 次

<ul style="list-style-type: none"> ●評価項目及び評点について … 1 ●文化施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区民会館（サンパール荒川） … 2 日暮里サニーホール … 4 荒川区ムーブ町屋 … 6 ●ふれあい館／ひろば館 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅前ふれあい館 … 8 汐入ふれあい館 … 10 峽田ふれあい館 … 12 荒川山吹ふれあい館 … 14 荒木田ふれあい館 … 16 西尾久ふれあい館 … 18 東日暮里ふれあい館 … 20 西日暮里ふれあい館 … 22 東日暮里三丁目ひろば館 … 24 ●特別養護老人ホーム／在宅高齢者通所SC <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームグリーンハイム荒川 … 26 グリーンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 28 特別養護老人ホームサンハイム荒川 … 30 サンハイム荒川在宅高齢者通所SC … 32 特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川 … 34 花の木ハイム荒川在宅高齢者通所SC … 36 西日暮里在宅高齢者通所SC … 38 町屋在宅高齢者通所SC … 40 南千住中部在宅高齢者通所SC … 42 荒川東部在宅高齢者通所SC … 44 西尾久西部在宅高齢者通所SC … 46 東日暮里在宅高齢者通所SC … 48 ●高齢者福祉施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川老人福祉センター … 50 授産場 … 52 	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川生活実習所 … 54 荒川福祉作業所 … 56 尾久生活実習所本所／分場 … 58 障害者福祉会館 … 60 障害者グループホーム … 62 精神障害者地域生活支援センター … 64 ●区営・区民住宅 <ul style="list-style-type: none"> 荒川区営住宅（町屋七丁目、町屋五丁目 … 66 南千住二丁目、西尾久七丁目、西尾久三丁目） 荒川区民住宅（町屋八丁目、町屋五丁目 … 68 西日暮里三丁目、東日暮里六丁目） ●保育園 <ul style="list-style-type: none"> 小台橋保育園 … 70 上尾久保育園 … 72 南千住さくら保育園 … 74 汐入とちのき保育園 … 76 はなみずき保育園 … 78 南千住保育園 … 80 ●自転車等駐車場 <ul style="list-style-type: none"> 南千住駅東口自転車等駐車場 … 82 センターまちや自転車駐車場 … 84 日暮里駅前自転車駐車場 … 86 ●生涯学習施設 <ul style="list-style-type: none"> 町屋文化センター … 88 生涯学習センター … 90 清里高原ロッジ／清里高原少年自然の家 … 92 ●スポーツ施設 <ul style="list-style-type: none"> 荒川総合スポーツセンター … 94
--	--

※ 通所サービスセンターを「SC」と記載しています。

<評価項目及び評点について>

実績評価にあたっては、次の7項目を基本とし、施設種別に評価の視点を設定した。

- ア 適切な施設運営・維持管理
- イ 区民サービス・利用者意見
- ウ 危機管理・苦情・事故等の対応
- エ 収支状況・縮減努力
- オ 法人決算
- カ 労務
- キ 地域との関わり等

評価項目ごとにA、A-、B+、B、B-、Cの6段階で評価を行った。

<上記のアからウについて>

- A：優れた内容の事業計画書等に基づき、適切に業務が行われていた。
- B：概ね業務仕様書等の内容どおりに業務が行われていた。
業務の一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：業務仕様書等の内容を下回っており、改善の見込みがない。

<エ 収支状況・縮減努力について>

- A：会計手続及び予算管理が適正であり、経費縮減の努力が行われていた。
- B：概ね会計手続及び予算管理等が適切に行われていた。
一部に改善の必要があったが、改善された。
- C：会計手続及び予算管理等に問題があり、改善の見込みがない。

<オ 法人決算について>

- A：安定的・継続的な運営に必要な財務力を有している。
- B：安定的・継続的な運営に一部改善の必要があるが、改善の見込みがある。
- C：安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

<カ 労務について>

- A：労務環境が適正である。
- B：労務環境に一部改善の必要があったが、改善された。
- C：労務環境に問題があり、改善の見込みがない。

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区民会館（サンパール荒川）
	所在地	荒川区荒川1-1-1
指定管理者	名称	MKT共同事業体 （構成団体：代表企業・(株)三菱電機ビルテクノサービス、 (株)共立、(株)シアターサポート）
	所在地	荒川区荒川7-19-1（代表企業所在地）
施設開設年月日		昭和50年3月28日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日
業務内容	1 文化事業の企画及び実施に関する業務 2 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 3 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 4 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 5 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 6 施設等の維持管理に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○大ホール 収容人員1,120席 面積1,162㎡ ○小ホール 収容人員300席（移動席）面積281㎡ ○集会室 第1（洋室）定員32名 面積78㎡ 第2（洋室）定員50名 面積73㎡ 第3（洋室）定員50名 面積85㎡ ※第2・3は通し使用可能 第4（和室）定員40名 面積90㎡ 第5（洋室）定員50名 面積92㎡ 第6（洋室）定員50名 面積99㎡ ※第5・6は通し使用可能 第7（洋室）定員100名 面積184㎡	
平成23年度の事業計画		
1. 管理運営事務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、意見交換会開催、利用者アンケート集計、広報誌発行、行事案内等 2. 文化事業 「定着化した催事の充実」、「鑑賞により参加意欲の喚起」、「文化団体、文化活動振興」をテーマにし文化事業を企画・実施 3. 研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修		
平成23年度の事業実績		
1. 上記事業計画の実施 2. 利用料金収入 68,162,821円 3. 稼働率 大ホール65.3% 小ホール62.6% 集会室43.6% 4. 文化事業実績 5事業実施 [第1回荒川シネマクラブ、第5回つくってみよう♪たたいてみよう♪、第2回荒川シネマクラブ、東京スカパラダイス、第2回サンパール荒川フェスティバル]		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	223,805,000	229,426,000	227,031,800	216,088,000
	決算	246,781,744	243,923,776	245,115,898	
支出	予算	223,805,000	229,426,000	227,031,800	216,088,000
	決算	230,573,188	237,423,914	234,157,344	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	16,208,556	6,499,862	10,958,554	

(備考)

24年度から、文化施設における文化事業はACC(公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団)が行うことになった等の理由により、予算が減少している。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	B
2 区民サービス・利用者意見	B
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	B-
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の雇用 ・障がい者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の区民雇用率は16.5%である。 ・障がい者雇用率は1.87%であり、法定水準(1.8%以上)を満たしている。 ・片面印刷済み用紙の再利用、ペットボトルキャップの収集、蛍光灯の間引き、空調の使用制限等を実施している。

総評

[サービス面の評価]

・法令を遵守し、適切な施設管理を行うとともに、利用者の要望に対し、迅速な対応を行っている。また危機管理に関する教育についても積極的に行っている。
 ・地域文化団体と交流を図り、地域の文化活動の拠点として文化団体の活動支援をすることで、区の芸術文化の振興に寄与している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者であるMKT共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等を確認した結果、労務環境に一部改善の必要があった。

[総合評価]

業務の遂行に必要な職員配置、研修体制、危機管理・事故等への迅速な対応、財務面の経費縮減努力といった点では良好であった。一方、利用者へ総合的にサポートするという面で課題はあるが、改善が図られている。全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里サニーホール
	所在地	荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4・5階
指定管理者	名称	(株)シービーシーメソッド
	所在地	新宿区百人町1-24-8
施設開設年月日		平成元年2月9日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日
業務内容	1 文化事業の企画及び実施に関する業務 2 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 3 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 4 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 5 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 6 施設等の維持管理に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○多目的ホール 収容人員500名(フラット時)／面積404㎡ ○コンサートサロン 収容人員100名(フラット時)／面積113㎡ ○会議室 第1会議室 収容人員24名(面積57㎡) 第2会議室 収容人員12名(面積25㎡) 第3会議室 収容人員12名(面積28㎡) ※第2, 3会議室は通し使用可能	
平成23年度の事業計画		
1	管理運営業務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、賠償責任保険への加入、利用者アンケート調査、情報誌の作成及び刊行	
2	文化事業 全2事業実施予定（現代的なターミナルに生まれ変わる日暮里駅周辺と、日暮里繊維街の相乗的活性化を目指し、地域内外の文化及び交流の推進に努める。）	
3	研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報取扱いに関する研修	
1	上記事業計画の実施（ただし、保守点検の一部及び利用者アンケート調査は未実施）	
2	利用料金収入	49,450,500円
3	稼働率	ホール66.5% コンサートサロン82.2% 会議室78.9%
4	文化事業実績	2事業実施（フリーマーケット1事業、ダンス公演等1事業：荒川区ムーブ町屋（5回）での実施も含めた全6回シリーズで実施）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	99,698,000	99,648,000	55,024,000	93,891,054
	決算	100,045,170	100,071,724	59,134,040	
支出	予算	99,698,000	99,648,000	54,687,460	93,891,054
	決算	94,744,913	96,824,342	47,011,892	
収支	予算	0	0	336,540	0
	決算	5,300,257	3,247,382	12,122,148	

(備考)

24年度から、指定管理者が変更になった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	B-
2 区民サービス・利用者意見	B-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	B
4 収支状況・縮減努力	B+
5 法人決算	C
6 労務	B-
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民雇用率：8% ・障害者雇用率：－（対象外） ・コピー用紙の再利用や、照明、空調等の徹底した節電を心掛けていた。ホール利用者へのゴミの持ち帰りを呼びかけるなど、利用者にもエコ啓発を行っていた。また、ペットボトルキャップを回収し、NPO法人エコキャップ推進協会に送付していた。

総評

[サービス面の評価]

当施設の指定管理者は荒川区ムーブ町屋と同事業者であるが、荒川区ムーブ町屋との共催企画で事業を展開する等、複数施設を一体管理するメリットを生かした運営を行っていた。また、それぞれの施設の特色を打ち出した文化事業を実施し、他施設との差別化も図っており、地域の芸術文化の振興に寄与していた。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理の一部に改善の必要があった。また指定管理者である株式会社シービーシーメソッドは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等を確認した結果、労務環境に一部改善の必要が認められた。

[総合評価]

23年度の指定管理業務実施にあたり、当指定管理者に対しては、本社も含め徹底的な経費削減を求めた。それを受け、経費縮減や事務の効率化を実行しながら業務執行を行い、危機管理・苦情・事故等の対応、地域との関わりといった点では良好であり、全体として指定管理業務は支障なく行われていた。一方で財務面は、法人決算の視点において安定的な事業運営を行うための財務力に乏しく、今後継続して指定管理業務を行うには困難な状況であった。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区ムーブ町屋
	所在地	荒川区荒川7-50-9 センターまちや3・4階
指定管理者	名称	(株)シービーシーメソッド
	所在地	新宿区百人町1-24-8
施設開設年月日		平成8年6月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日
業務内容	1 文化事業の企画及び実施に関する業務 2 文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する業務 3 施設及び附帯設備（以下「施設等」という。）の利用に関する業務 4 施設等の利用等の承認、不承認及び利用承認の取消に関する業務 5 施設等の利用料金の收受、減免及び還付に関する業務 6 施設等の維持管理に関する業務 7 前6号のほか、区長が必要と認める業務 <施設の概要> ○多目的ホール 収容人員296席／面積343㎡ ○ハイビジョンルーム 収容人員70席／面積59㎡ ○多目的展示室(ミニギャラリー) 収容人員28名／面積70㎡ ○スタジオ 収容人員10名程度／面積51㎡ ○企画展示コーナー オープンスペース／面積145㎡ (ギャラリー) (4階全施設を使用する場合185㎡)	
平成23年度の事業計画		
1	管理運営業務 施設の安全管理（日常点検、保守点検）、報告書及び統計資料の作成及び区への報告、賠償責任保険への加入、利用者アンケート調査、情報誌の作成及び刊行	
2	文化事業 全4事業実施予定（伝統的な下町文化の要素と、現代的なターミナル性に代表される地域特性をふまえ、地域内外の文化及び交流の推進に努める。）	
3	研修 安全管理研修、技術者研修、個人情報の取扱いに関する研修	
1	上記事業計画の実施（ただし、保守点検の一部及び利用者アンケート調査は未実施）	
2	利用料金収入 28,642,500円	
3	稼働率 ムーブホール67.4% ハイビジョンルーム41.8% 多目的展示室(ミニギャラリー)56.6% スタジオ67.1% 企画展示コーナー(ギャラリー)51.3%	
4	文化事業実績 3事業実施(紙芝居1事業、ダンス公演等1事業：日暮里サニーホール(5回)での実施も含めた全6回シリーズで実施、常設展示1)	

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	69,286,800	68,333,000	49,713,000	64,441,080
	決算	72,087,237	64,070,603	50,595,030	
支出	予算	69,286,800	68,333,000	49,713,000	64,441,080
	決算	71,178,700	65,447,268	36,450,209	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	908,537	-1,376,665	14,144,821	

(備考)

24年度から、指定管理者が変更になった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	B-
2 区民サービス・利用者意見	B-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	B
4 収支状況・縮減努力	B+
5 法人決算	C
6 労務	B-
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・区民雇用率：23.7% ・障害者雇用率：－(対象外) ・コピー用紙の再利用や、照明、空調等の徹底した節電を心掛けていた。また、ペットボトルキャップを回収し、NPO法人エコキャップ推進協会に送付していた。

総評

[サービス面の評価]

当施設の指定管理者は日暮里サニーホールと同事業者であるが、日暮里サニーホールとの共催企画で事業を展開する等、複数施設を一体管理するメリットを生かした運営を行っていた。また、それぞれの施設の特色を打ち出した文化事業を実施し、他施設との差別化も図っており、地域の芸術文化の振興に寄与していた。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理の一部に改善の必要があった。また指定管理者である株式会社シービーシーメソッドは、安定的・継続的な運営に問題があり、改善の見込みがない。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等を確認した結果、労務環境に一部改善の必要が認められた。

[総合評価]

23年度の指定管理業務実施にあたり、当指定管理者に対しては、本社も含め徹底的な経費削減を求めた。それを受け、経費縮減や事務の効率化を実行しながら業務執行を行い、危機管理・苦情・事故等の対応、地域との関わりといった点では良好であり、全体として指定管理業務は支障なく行われていた。一方で財務面は、法人決算の視点において安定的な事業運営を行うための財務力に乏しく、今後継続して指定管理業務を行うには困難な状況であった。

担当所管部署	部	区民生活部	課	区民課
--------	---	-------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅前ふれあい館
	所在地	荒川区南千住七丁目1番1号 アクレスティ南千住2F
指定管理者	名称	株式会社日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿樂町二丁目2番3号 NSビル4F
施設開設年月日		平成22年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成22年4月1日
指定期間		平成22年4月1日～平成25年3月31日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 ・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 ・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。 <p>敷地面積 3,095.83㎡ 延床面積 977.88㎡(専用) (2階394.37㎡ 3階583.51㎡)</p> <p>施設内容 2階…サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 3階…創作室、ブレイルーム、和室、洋室1・2・3・4 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	

平成23年度の事業計画

幼児タイム等の事業を行うとともに、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全にすごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受ける。多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。使用方法を工夫し、遊具をそろえる。

中高生の健全な育成と交流の基点の場となるよう努める。

中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。

区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。

地域住民が気軽に集えるように昼食時に会議室を開放し、交流支援を行う。

平成23年度の事業実績

乳幼児と保護者の体操・パネルシアター・親子ふれあい広場にて乳幼児とその保護者が昼食がとれる場の開催。また育児相談活動を通年行い、子育てカウンセラーによる相談を年2回行った。

南千住なかよしまつりを実施し、ダンスサークルの活動を発表した。またスポーツサークルが地域清掃活動を行い、自分たちの街をきれいすることにより地域に貢献した。

8月に中学生会議を開き「中学生が利用しやすい施設、中学生が魅力を感じる事業」について話し合いを行った。また中学生の職業体験を受け入れた。

通年で、踊り・合唱・民謡・詩吟等を行い、高齢者同士の親睦を図れるよう、館外活動を行った。

世代別入館者数 カッコ内は昨年入館者数

幼児	10,050名(11,475名)
小学生	12,342名(10,636名)
中学生	210名(221名)
大人(高校生含)	13,340名(13,621名)
内：高校生	0名(76名)
内：18歳以上	13,340名(13,545名)
高齢者	10,520名(9,426名)
総入館者数	46,462名(45,379名)

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算		39,802,942	39,993,678	40,043,678
	決算		39,802,942	39,993,678	
支出	予算		39,802,942	39,993,678	40,043,678
	決算		34,679,860	33,102,767	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	5,123,082	6,890,911	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>区内小学校児童の施設見学、中学校生徒の職業体験の受け入れ。区内有識者をボランティア講師に迎え講座を開催。</p> <p>電気設備や清掃等、区内2業者に委託。</p> <p>平成24年3月31日現在、常勤2名、非常勤3名、計5名の区内職員を有する。</p> <p>平成24年3月31日現在障害者の雇用は1.1%である。</p> <p>ペットボトルや牛乳パック等を用いたリサイクル工作教室を開催。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社日本デイケアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	汐入ふれあい館
	所在地	荒川区南千住八丁目2番2号
指定管理者	名称	社会福祉法人 雲柱社
	所在地	世田谷区上北沢三丁目8番19号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 ・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 ・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 2,090.00㎡ 延床面積 1,237.38㎡ (1階55.06㎡ 2階762.49㎡ 3階419.83㎡)</p> <p>施設内容 2階…サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、和室、図書室、事務室 3階…創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐輪場</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>乳幼児を育てている母親たちが集い、交流し、子供たちとの関わりを楽しみ、子育ての情報交換や悩み相談の出来る場と活動を提供し、子育てを支援する。 家庭や学校とは異なる環境で、異年齢の交流を大切にし、子供の生きる力や社会性を培っていく。 中高生事業として、他者との関係を広げながら、その関わりの中かで、自立への力を積み重ねるようにしていく。 地域の方々と共に世代交流を中心に活動し、ボランティアへの協力を促進する。 事業を通じ、趣味・生きがいを作り仲間作りを支援していく。 イベントを共に行うことで、異年齢、他世代の交流を促進していく。</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>年齢に合わせたふれあい遊び、体操、パネルシアター等を行った。また、育児相談を一年を通じて、実施し、育児支援カウンセラー相談を年2回実施した。 体験学習キャンプ、交流フェスタ、ふれあい祭り等を実施した。 体験学習キャンプの実施、夏祭り等のボランティアとしての参加を呼びかけ実施した。 踊り・カラオケ・体操等を行い、小学生との交流を目的とした「わなげ大会」を実施した。また、夏祭り、ふれあい祭り等で世代間交流を深めた。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 15,063名(17,798名) 小学生 31,652名(30,400名) 中学生 3,366名(3,818名) 大人(高校生含) 18,208名(21,720名) 内：高校生 269名(654名) 内：18歳以上 17,939名(21,066名) 高齢者 7,169名(8,228名) 総入館者数 75,458名(81,964名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	41,013,868	41,014,418	41,309,573	41,309,573
	決算	41,013,868	41,016,299	41,310,826	
支出	予算	41,013,868	41,014,418	41,309,573	41,309,573
	決算	40,925,390	44,090,674	38,450,311	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	88,478	-3,074,375	2,860,515	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	ペットボトルや牛乳パック等を用いたリサイクル工作教室を開催可能な限り、地元汐入地区で買い物をしている。 平成24年3月31日現在、区民の雇用は無い。 平成24年3月31日現在、障害者の雇用は無い。 子供服リサイクルの実施。

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人雲柱社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要																		
施設名	名称	峡田ふれあい館																
	所在地	荒川三丁目3番10号																
指定管理者	名称	特定非営利活動法人ワーカーズコープ																
	所在地	東京都豊島区池袋三丁目1番2号																
施設開設年月日		平成23年4月1日																
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日																
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日																
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。</p> <p>・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。</p> <p>・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 1,283.89㎡ 延床面積 1,767.90㎡ (1階494.35㎡ 2階543.14㎡ 3階710.86㎡ 塔屋19.55㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、授乳室、事務室 2階…音楽室、和室1、和室2、洋室1、洋室2、調理・会議室 3階…多目的室、創作室、プレイルーム、相談室、学童クラブ室 その他付属設備…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>																	
平成23年度の事業計画																		
<p>親子遊びや育児に関する遊びを中心に幼児には、のびのびと過ごせる場をつくり、保護者には、子育てのベテランである女性職員に育児に関する相談をする場を提供する。</p> <p>合宿通学を行い、子供の生きる力や社会性を培っていく。</p> <p>中高生事業として、合宿を行い他者との関係を広げ、自分たちの居場所としての場を提供する。</p> <p>事業を通じ、新しい出会い・学び・コミュニケーションのきっかけをつくり、高齢者が活躍できる場の拠点とする。</p>																		
平成23年度の事業実績																		
<p>乳幼児対象の体操やお話会、ちびっ子シアター等を実施し、親子で過ごせる場の提供を行った。また、ベテラン職員による子育て相談を通年で実施した。</p> <p>合宿通学、ドンとやろう大会、荒川マイスター講座を行い、自立心の向上や地場産業への興味がわく事業を行った。</p> <p>中高生合宿、3ON3大会、ふれあい館交流フェスタでの高校生によるダンスの披露を行い、自分たちの大切な居場所となる事業を実施した。</p> <p>体操・カラオケ・ダンス・民謡等の事業を行った。また、ふれあい館祭りでのカラオケやおどりの披露を行い、高齢者の活躍する場を作った。</p>																		
<p>世代別入館者数</p> <table border="0"> <tr> <td>幼児</td> <td>8,849名</td> </tr> <tr> <td>小学生</td> <td>22,296名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>9,572名</td> </tr> <tr> <td>大人(高校生含)</td> <td>17,875名</td> </tr> <tr> <td> 内:高校生</td> <td>2,717名</td> </tr> <tr> <td> 内:18歳以上</td> <td>15,158名</td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>16,176名</td> </tr> <tr> <td>総入館者数</td> <td>74,768名</td> </tr> </table>			幼児	8,849名	小学生	22,296名	中学生	9,572名	大人(高校生含)	17,875名	内:高校生	2,717名	内:18歳以上	15,158名	高齢者	16,176名	総入館者数	74,768名
幼児	8,849名																	
小学生	22,296名																	
中学生	9,572名																	
大人(高校生含)	17,875名																	
内:高校生	2,717名																	
内:18歳以上	15,158名																	
高齢者	16,176名																	
総入館者数	74,768名																	

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算			45,509,998	45,509,998
	決算			45,195,352	
支出	予算			45,509,998	45,509,998
	決算			40,891,993	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	4,303,359	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>第三峡田小PTAが主催するお祭りに峡田ふれあい館としてブースを出した。</p> <p>清掃・消防用設備保守点検・自家用電気工作物保守等4業務を区内業者に委託。</p> <p>平成24年3月31日現在全職員9名中2名の区内在住職員を有する。</p> <p>平成24年3月31日現在、障害者雇用率は2.3%である。</p> <p>不要な照明を消灯するなど、積極的に取り組んでいる。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人ワーカーズコープは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川山吹ふれあい館
	所在地	荒川区荒川七丁目6番8号
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 荒川区高年者クラブ連合会
	所在地	荒川区荒川一丁目34番6号
施設開設年月日		平成18年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。</p> <p>・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。</p> <p>・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 878.88㎡ 延床面積 1,230.26㎡ (1階410.68㎡ 2階410.68㎡ 3階383.83㎡ 屋上25.07㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、事務室、和室1・2 2階…洋室1・2、創作室、 プレイルーム(親子ふれあいひろば)、茶室 3階…多目的室 屋上…屋上庭園 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、 相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>育児体操や親子ふれあい遊び、地域の高齢者との交流の場を設ける。また保護者には、子育て支援講座を行い子育ての支援を行う。</p> <p>館の行事について「子ども会議」を実施し、児童と職員が共に企画・運営活動を行う。</p> <p>スポーツ大会や工作教室など、子どもが協力して行える事業を行う。</p> <p>進級・卒業後も継続して利用できるようスポーツ教室を行う。</p> <p>体操・うた・踊り等を通じ、高齢者のふれあいの場を提供し、ひとり暮らしの方を対象にした「ふれあいランチ」を実施する。</p>		
平成23年度の実績		
<p>保護者と体操、世代交流として、地域の小学生・高齢者とのふれあい遊びやランチタイムを行った。</p> <p>子育てカウンセリング、食育講座等を行った。</p> <p>「子ども会議」の実施、スポーツ教室及びスポーツ大会への参加、「ニコニコ文化祭」でのHIPHOP・フラダンス等の披露を行った。また、夏休み工作教室、パン作り体験・チョコ作り教室などの体験教室を行った。</p> <p>ミニテニス教室やスポーツ大会また、クッキング教室を実施し、場の提供を行った。</p> <p>健康体操、ふれあいコンサート、軽スポーツ大会、ふれあいランチなど実施し、高齢者とのふれあいの場を設けた。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年の来館者数</p> <p>幼児 9,879名(9,683名)</p> <p>小学生 5,779名(7,740名)</p> <p>中学生 2,817名(2,535名)</p> <p>大人(高校生含) 11,465名(12,148名)</p> <p>内：高校生 771名(1,268名)</p> <p>内：18歳以上 10,694名(10,880名)</p> <p>高齢者 14,718名(13,907名)</p> <p>総入館者数 44,658名(46,013名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,145,248	44,011,798	44,472,028	44,423,028
	決算	44,145,248	44,011,798	44,472,028	
支出	予算	44,100,000	43,937,130	44,472,028	44,423,028
	決算	42,981,074	44,011,798	44,472,028	
収支	予算	45,248	74,668	0	0
	決算	1,164,174	0	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	B
5 法人決算	B-
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>地域ボランティアによる科学教室を実施。</p> <p>消防用設備保守点検および空調設備保守点検を区内業者に委託。</p> <p>平成24年3月31日現在、職員13名中9名が区内在住である。</p> <p>荒川山吹ふれあい館指定管理者は障害者雇用率制度の対象外である。</p> <p>屋上でチューリップを栽培した。また、小松菜・えごま・大葉等を栽培して地域の方や利用者に配布した。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である特定非営利活動法人荒川区高年者クラブ連合会は、収益性、安定性に課題があり、安定的・継続的な運営のためには、財務力の強化が必要である。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、労務面は良好であった。一方、財務面について一部課題があり、改善の必要があるが、全体として、指定管理者業務は確実に行われたと評価できる。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒木田ふれあい館
	所在地	荒川区町屋六丁目13番2号
指定管理者	名称	株式会社 大起エンゼルヘルプ
	所在地	荒川区町屋五丁目10番9号
施設開設年月日		平成16年10月26日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月26日
指定期間		平成22年4月1日～平成25年3月31日
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。</p> <p>・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。</p> <p>・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 783.58㎡ 延床面積 1,215.43㎡ (1階525.91㎡ 2階282.18㎡ 3階363.53㎡ 屋上 43.81㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、多目的室、事務室 2階…創作室、プレイルーム、調理・会議室 3階…和室1・2、洋室1・2、音楽室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>子育て中の親とその乳幼児がいつでも気軽にふれあい交流出来る場の提供を行う。また利用者とスタッフの信頼関係を築き、子育て相談のしやすい環境を作る。</p> <p>児童に健全な遊び場を提供し、ルールを守って遊ぶ楽しさを知ってもらい、学年を超えた仲間作りを図る。</p> <p>中高生が思い切り身体を動かせる専用時間を設け、職員と一緒に身体を動かし、中高生と信頼関係を作り、気軽に立ち寄れる環境を作る。</p> <p>高齢期の生活が活力に満ちたものになるよう、高齢者のための定期的な発表の場を設け、地域との交流につなげて行く。</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>親とのふれあい体操や親子ふれあい広場を実施することにより、親同士の交流を図り、子育ての孤立化にならぬよう、仲間作りを促進し親子が気軽にふれあうことの出来る交流の場を提供した。また、子育ての不安を交渉するため、月1回の育児相談会を実施した。</p> <p>フットサル大会、ダンスサークルなどを通じ、学年を超えた仲間作りが図れる活動を実施した。また、町屋こども祭りやふれあい館交流フェスタに参加し、日頃の成果の発表を行った。</p> <p>バトミントンやフットサルなどを通じ、中高生も気軽に来館できる環境を作った。</p> <p>踊り・書道・ダンスなど発表の場を設け、地域との交流に繋げていった。また、体操・カラオケなどを通じ高齢者にふれあいの場を提供した。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 9,918名(8,778名)</p> <p>小学生 18,728名(21,087名)</p> <p>中学生 3,518名(5,200名)</p> <p>大人(高校生含) 18,778名(17,687名)</p> <p>内:(高校生) 1,209名(223名)</p> <p>内:(18歳以上) 17,569名(17,464名)</p> <p>高齢者 9,337名(9,452名)</p> <p>総入館者数 60,279名(62,204名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,389,628	44,723,858	44,858,233	44,827,233
	決算	44,389,628	44,723,858	44,858,233	
支出	予算	44,389,628	44,723,858	45,898,720	44,827,233
	決算	44,314,445	45,373,733	44,590,853	
収支	予算	0	0	-1,040,487	0
	決算	75,183	-649,875	267,380	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A-
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>ボランティアまたは有償講師に依頼し世代間交流事業を行った。また自主サークル活動への発展を支援した。</p> <p>施設の維持管理および修繕・購入等に関する業者は可能な限り区内事業者を選択している。</p> <p>平成24年3月31日現在、職員16名中8名が区内在住である。</p> <p>平成24年3月31日現在障害者の雇用は無い。</p> <p>製作活動材料に廃品等を活用する等工夫している。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社大起エンゼルヘルプは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西尾久ふれあい館
	所在地	荒川区西尾久八丁目33番31号
指定管理者	名称	株式会社 日本デイケアセンター
	所在地	千代田区猿楽町二丁目2番3号
施設開設年月日		平成16年10月12日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年10月12日
指定期間		平成22年4月1日～平成25年3月31日
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。</p> <p>・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。</p> <p>・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 777.68㎡ 延床面積 1,189.16㎡ (1階415.86㎡ 2階415.86㎡ 3階357.44㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、親子ふれあいひろば、和室1・2、事務室 2階…創作室、プレイルーム、学童クラブ室、洋室1・2 3階…多目的室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、給湯室、駐車場、駐輪場</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>幼児タイム等の事業をおこなうとともに、親子ふれあいひろばを設置し、幼児専用スペースを確保し安全にごせる環境をつくる。また、子育て支援活動として、担当者による子育て相談を受けることのできる場を設ける。</p> <p>多くの子供たちが参加できるような、サークル活動や行事を実施し、子供たちの交流を図る。</p> <p>使用方法を工夫し、遊具をそろえる。</p> <p>中高生の健全な育成と交流の基点の場となるよう努める。</p> <p>中学生の職場体験を積極的に受け入れ、中学生の健全育成に努める。</p> <p>区民相互の交流と自主的活動の援助を行う。また各種ボランティアによる講座を設立し文化的生活の向上や余暇の充実が図られるように支援していく。</p> <p>地域住民が気軽に集えるようにサロンを開放し、交流支援を行う。</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>乳幼児と保護者の体操、親子ふれあい広場を通じて、子育て中の親とその乳幼児たちがふれあう楽しさを知り、親たちの交流の場を提供した。また育児相談活動を通年行い、子育てに関する情報提供、育児相談を保健師、主任児童相談員、民生委員等と連携し活動を展開した。</p> <p>多くの子どもたちが参加出来るような事業、サークル活動を実施し、ふれあい館まつりにて、日頃の成果を披露した。また、ディキャンプを行い異なる学年の交流を図った。</p> <p>中高生スポーツ大会、中高生工房、中学生サークルを実施し、中高生も中高生同士の交流が図れる事業を行った。</p> <p>高齢者事業については、通年で、踊り・合唱・民謡・詩吟等の定例活動のほか、高齢者同士の親睦を図れるよう「大人の遠足」等館外活動を行った。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 10,226名(9,017名)</p> <p>小学生 15,725名(15,147名)</p> <p>中学生 2,987名(2,395名)</p> <p>大人(高校生含) 12,602名(11,258名)</p> <p>内:(高校生) 554名(622名)</p> <p>内:(18歳以上) 12,048名(10,633名)</p> <p>高齢者 11,659名(10,683名)</p> <p>総入館者数 53,199名(48,500名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,690,300	44,756,378	44,699,935	44,646,935
	決算	44,690,300	44,756,378	44,699,935	
支出	予算	44,690,300	44,756,378	44,699,935	44,646,935
	決算	38,458,535	37,099,446	37,217,947	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	6,231,765	7,656,932	7,481,988	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>区内中学校3校の職業体験実習を受け入れた。近郊のNPOの協力のもと、理科実験教室を行った。</p> <p>消防設備保守点検および電気設備点検を区内業者に委託した。</p> <p>平成24年3月31日現在5名の区内在住職員を有する。</p> <p>平成24年3月31日現在障害者の雇用は1.1%である。</p> <p>年6回牛乳パックやペットボトル等の材料を使用したを使ったエコ工作を取り入れた。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティーの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社日本デイクアセンターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	東日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区東日暮里一丁目17番13号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成17年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成17年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 ・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 ・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。 <p>敷地面積 5,814.86㎡ 延床面積 1,176.87㎡ (1階573.65㎡ 2階603.22㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、和室1・2、洋室1・2、音楽室、事務室 2階…創作室、ブレイルーム(親子ふれあいひろば)、多目的室、学童クラブ室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>親子参加型行事、季節を意識した行事の拡充を図り、子育て支援サークル活動の支援を図る。児童が安心して利用できる環境を整備し、社会性や集団活動でのきまり、異年齢との交流を深める事業を計画する。</p> <p>中高生が利用しやすく、興味をひく事業を展開し、利用者の拡大を図る。</p> <p>高齢者の仲間作りや生きがいの創出を支援し、世代間交流をはじめとした、ふれあい等を促進する。</p>		
平成23年度の実績		
<p>体操や親子ふれあいタイムを通じて、参加親子の交流や、子育てサークルの活動を支援した。また、節分や七夕、クリスマスなどの季節を意識した行事に取り組んだ。</p> <p>子育て支援講座や育児相談を実施し、子育てに対する不安の解消に努めた。</p> <p>ダンスサークルでのHIPHOPダンスレッスンやデイキャンプなどを通じ、異年齢間の交流を行い、日暮里あおぞらこども祭りや年末こどもパーティーでのサークル活動の成果の発表を行った。</p> <p>浴衣着付け教室や中高生HIPHOP講座を実施し、中高生の興味をひく事業を実施し利用の増加に努めた。</p> <p>体操・カラオケ・日本舞踊など通じ高齢者の生きがいを創設し、乳幼児とふれあい事業、お正月遊びなどを通じ世代間交流を行った。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年の実績</p> <p>幼児 10,468名(9,062名)</p> <p>小学生 21,589名(22,616名)</p> <p>中学生 557名(691名)</p> <p>大人(高校生含) 11,492名(10,729名)</p> <p>内:(高校生) 240名(221名)</p> <p>内:(18歳以上) 11,252名(10,518名)</p> <p>高齢者 6,954名(6,801名)</p> <p>総入館者数 51,060名(49,899名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,653,216	44,413,118	44,654,238	44,568,238
	決算	44,653,216	44,413,118	44,654,238	
支出	予算	44,653,216	44,413,118	44,654,238	44,568,238
	決算	43,432,831	44,294,228	44,512,129	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	1,220,385	118,890	142,109	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>館行事の際の準備や警備等地域ボランティアの協力を得て実施した。町会・自治会の主催する防災訓練に参加し、地域との連携を深めた。</p> <p>清掃およびガスメンテナンス委託を区内業者に依頼。</p> <p>平成24年3月31日現在全職員22名中4名の区内在住職員を有する。</p> <p>平成24年3月31日現在障害者の雇用は無い。</p> <p>不要な照明の消灯やエアコンの温度設定への配慮など、省エネ活動を心掛ける。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署	部	区民生活部	課	地域振興課
--------	---	-------	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	西日暮里ふれあい館
	所在地	荒川区西日暮里六丁目24番4号
指定管理者	名称	学校法人 道灌山学園
	所在地	荒川区西日暮里四丁目7番15号
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>・乳幼児から児童・青少年・成人・高齢者まで、あらゆる世代の区民が生き生きと集い、ふれあいと相互交流の輪を広げる。 ・遊び・文化・スポーツ・健康づくり・教養娯楽活動等を通じて地域コミュニティの形成を図るための事業を実施する。 ・地域住民の自主的かつ主体的な活動を促進するための場の提供に係る事業を実施する。</p> <p>敷地面積 776.20㎡ 延床面積 1,261.63㎡ (1階424.76㎡ 2階415.35㎡ 3階401.63㎡ 屋上 19.89㎡)</p> <p>施設内容 1階…サロン、和室1・2、事務室 2階…創作室、プレイルーム(親子ふれいひろば)、洋室1・2、音楽室 3階…多目的室 その他…だれでもトイレ、男女トイレ、相談室、壁面緑化パネル</p>	
平成23年度の事業計画		
<p>親子参加型行事、季節を意識した行事の拡充を図り、乳幼児とその保護者の交流を促進し、子育て支援サークル活動の支援を図る。 児童が安心して利用できる環境を整備し、行事等では実行委員を決め社会性や集団活動の決まりを指導する。また、区や地域の行事に参加し、さまざまな人たちとの交流を深める。 館の特性を生かした事業を展開し、中高生が利用しやすい環境を整え利用者の拡大を図る。 世代間交流をはじめとした行事・施設交流などを通し、出会いやふれあいを促進し、高齢者の仲間作りを支援する。</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>体操や親子ふれあいタイムを通じて、参加親子の交流や、子育てサークルの活動を支援した。また、節分や七夕、クリスマスなどの季節を意識した行事に取り組んだ。 子育て支援講座や育児相談を実施し、子育てに対する不安の解消に努めた。 ダンスサークルでのHIPHOPダンスレッスンやデイキャンプなどを通じ、異年齢間の交流を行い、日暮里あおぞらこども祭りや年末こどもパーティーでのサークル活動の成果の発表を行った。 中高生向け時間を設定したり高校生HIPHOP教室を行い、中高生が利用しやすい環境を整えた。 体操・カラオケ・日本舞踊などを通じ高齢者の生きがいを創設した。また、地域の子どもたちとふれあう機会を作り、お正月遊びなど開催することにより世代間交流を行った。</p>		
<p>世代別入館者数 カッコ内は、昨年入館者数</p> <p>幼児 18,510名(17,844名) 小学生 9,267名(5,766名) 中学生 1,015名(2,117名) 大人(高校生含) 21,311名(23,187名) 内:(高校生) 132名(681名) 内:(18歳以上) 21,179名(22,508名) 高齢者 7,131名(6,798名) 総入館者数 57,234名(55,712名)</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,181,196	44,378,746	44,502,843	44,467,843
	決算	44,181,196	44,378,746	44,502,843	
支出	予算	44,181,196	44,378,746	44,502,843	44,467,843
	決算	42,155,880	43,828,604	44,081,423	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,025,316	550,142	421,420	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>地域住民、自治会との交流を積極的に行い、総会等での貸室の利用を促したり地域のイベントへの参加・協力を行った。</p> <p>ガスメンテナンスおよび給水ポンプ点検を区内業者に委託。</p> <p>平成24年3月31日現在、全職員22名中7名の区内在住職員を有する。</p> <p>平成24年3月31日現在、障害者の雇用は無い。</p> <p>おさがりマーケットの実施。児童事業で使用する工作材料に、地域の工場や印刷所から提供された廃材を使用。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、資格・経験を有する業務遂行上必要な職員を配置し、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

事業運営の面では、工夫した様々な事業を実施し、乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層が利用できるように努めている。地域コミュニティの形成、世代間交流事業も積極的に展開している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である学校法人道灌山学園は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	東日暮里三丁目ひろば館
	所在地	荒川区東日暮里三丁目8番16号
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	東京都北区王子二丁目19番21号
施設開設年月日		平成18年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	<p>東日暮里三丁目ひろば館の貸室貸出業務及び施設管理業務を行う。</p> <p>敷地面積 1,010.54㎡ 延床面積 913.66㎡ 施設内容 1階…事務室 101洋室 3階…301洋室、302和室、多目的室 その他…男女トイレ、給湯室</p> <p>1階事務室は東日暮里在宅高齢者サービスセンターと併用</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> 東日暮里三丁目ひろば館の下記施設の貸出及び管理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 1階-洋室 3階-洋室、和室、多目的ホール 		
平成23年度の実績		
<ul style="list-style-type: none"> 東日暮里三丁目ひろば館の下記施設の貸出及び管理を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 1階-洋室 3階-洋室、和室、多目的ホール 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	9,853,000	9,853,000	10,158,000	10,710,663
	決算	9,853,515	10,574,862	9,754,441	
支出	予算	9,843,000	9,666,000	10,158,000	10,710,663
	決算	9,814,944	10,574,737	9,925,023	
収支	予算	10,000	187,000	0	0
	決算	38,571	125	-170,582	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<p>101洋室、301洋室、302和室、多目的室の貸室業務を適切に実施した。</p> <p>消耗品の購入や、点検業務の委託等に積極的に区内業者を活用している。</p> <p>平成24年3月31日現在、区民の雇用は無い。</p> <p>平成24年3月31日現在、障害者の雇用は1.0%である。</p> <p>環境やエコに関する意識が高く、節電に努めている。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設管理の面では、区民が安心・安全に施設を利用できるよう、適切に維持管理がなされている。

貸室業務については、各部屋の清潔や点検を十分行い、気持ち良く利用できるよう心がけている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力が行われているが、収支差額がマイナスとなっており改善が求められる。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面とも良好であり、指定管理者業務は適正であったと評価する。

担当所管部署 **部** 区民生活部 **課** 地域振興課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームグリーンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。（定員）特養100名・ショート10名
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特養94%、ショートステイ120%の稼働率を確保し、安定した経営基盤を作る。日常の健康管理やインフルエンザなどの感染症対策を徹底することで入院日数の削減を図る。また、入居待機者の事前面接を早期に行うなどして、空籍発生から入居までの期間短縮を図るとともに、受け入れ先のフロア状況を確認しつつ、ショートステイの空床を積極的に活用する。 ・ ショートステイの新規利用者の目標は40人とする。また、家族交流会を実施し、家族間およびフロア職員との交流の場を設ける。 ・ 新しいボランティアの開拓に努めるとともに、継続ボランティアの充実を図る。 ・ 東京都社会福祉協議会等が主催する外部研修により多くの職員を参加させ、職員一人ひとりのスキルアップを図る。 ・ 将来介護の担い手となる人材を育成するため、積極的に実習生の受け入れを行う。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特養・ショートステイ合計の稼働率は94.3%（昨年度比2.0%減）であった。空籍発生から新規入居までの期間は、平均8.2日であり、昨年度よりおよそ7日間短縮することができた。延べ入院日数は前年度比931日増となった。 ・ ショートステイの平均稼働率は124.3%で前年比2.0%増となった。新規利用者は41名となった。 ・ 6月から特養で24時間記録シートの導入を行ったことに伴い、ショートステイも記録の形式を特養に準じるものとした。この際、より多く利用者の情報を掲載できるようにし、より一層利用者にあった対応への指示が掲載できるようになった。 ・ ショートステイにおいて、透析を行っている方、重度の認知症で転倒リスクの高い方や常時見守りが必要な方についても可能な限り受け入れを行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	447,638,000	460,814,000	463,477,000	463,401,000
	決算	453,548,343	464,914,052	456,473,547	
支出	予算	444,038,000	457,214,000	457,877,000	457,441,000
	決算	448,523,839	460,677,278	447,356,489	
収支	予算	3,600,000	3,600,000	5,600,000	5,960,000
	決算	5,024,504	4,236,774	9,117,058	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開行事「みなこい祭り」について、今年度より、地域のイベントとの重複を避け、開催日を11月に変更し、より参加しやすい催しとした。 ・毎月1回保育園との交流を行っている。 ・来食サービス（延べ利用数232人）、お元気ランチ（延べ利用数417人）を実施した。 ・ボランティア延べ50人、実習生等延べ32人を受け入れた。 ・夜間管理当直を区内業者に委託している。 ・区民雇用率28.9%、障害者雇用率2.04%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・開設から23年が経った施設の設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・施設は従来型多床室であるが、ユニット的ケアを取り入れており、利用者にとってより良いサービスが提供できていると評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立グリーンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住6-36-5
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成元年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成元年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型40名 * 介護予防含む</p>
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標稼働率は85%とする。安定した事業運営を行うための稼働率を維持し、同時に利用者の個別的生活への支援効果、質的な効果を考えた取り組みを行うため、自立支援にこだわったサービス提供、特にリハビリに力を入れる。 ・ 機能訓練について、現在の機能訓練加算Ⅰから機能訓練Ⅱに変更するための準備期間とする。 そのため個別機能訓練計画や必要な記録類等を整備し複数の訓練内容の充実を図る。 ・ 通所予防介護においては、利用者の「したい」「できるようになりたい」という意欲を重視し、利用者一人一人の自己実現を意識したメニューを用意する。また、改善がみられるかどうかを毎月評価し、サービスの質を向上させる。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 稼働率実績は81.5%（昨年比2.2%減）、1日利用実績33.5名、平均介護度2.2であった。 ・ 常勤の理学療法士・看護師の勤務体制を整え、個別機能訓練加算をⅠからⅡに変更した。 ・ 個別リハビリの充実、利用者のリハビリ満足度の向上、ゆったりとした環境でのリハビリの充実を図るため、2月より1日のスケジュールの見直しを行い、午前中に集団体操・筋力向上プログラムなどを導入した。それにより個別リハビリ対応数が増加し、利用者からも満足との声が多く聞かれることとなった。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	103,161,000	102,025,000	103,130,000	94,050,000
	決算	100,276,808	102,748,163	101,184,017	
支出	予算	99,843,000	101,701,000	100,806,000	98,810,000
	決算	95,538,539	101,317,370	98,773,249	
収支	予算	3,318,000	324,000	2,324,000	-4,760,000
	決算	4,738,269	1,430,793	2,410,768	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公開行事「みなこい祭り」について、今年度より、地域のイベントとの重複を避け、開催日を11月に変更し、より参加しやすい催しとした。 ・毎月1回保育園との交流を行っている。 ・来食サービス（延べ利用数232人）、お元気ランチ（延べ利用数417人）を実施した。 ・夜間管理当直を区内業者に委託している。 ・区民雇用率42.9%、障害者雇用率2.04%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・開設から23年経った施設の設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・理学療法士・看護師の体制を整え、機能訓練、リハビリ内容の充実を図り、利用者から好評を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川
	所在地	荒川区南千住3-14-17
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。（定員）特養56名：ショート12名	

平成23年度の事業計画

- ・利用者様の意思や人格を尊重し、心身の状況等に応じて適切な介護サービスを提供するとともに、自らその提供するサービスの質の評価を行うことにより常にサービスを受ける方の立場に立った施設介護事業を実施する。
- ・特養ホームの稼働率目標を91.5%とし、年間の延利用者数は18,700床を目標とする。そのため、新規入所者の迅速な確保と入院者の減少にむけた取り組みを進めていく。
- ・ショートステイでは、新規及び緊急性の高い利用者などへの柔軟な対応で、新たなリピーター確保を進める。年間稼働率目標を115%と設定し、年間5,037床以上の利用者の確保を目指す。

平成23年度の事業実績

- ・延べ利用者数19,200名、稼働率は94.0%となり、目標を達成することができた。
- ・新規入所の方は、本人及び家族の意向を聞き、1～2週間の集中観察を行った上で会議にて各職種で検討し、作成したケアプランを回覧、介護経過や申し送りを中心に情報の共有を行い、利用者のQOL（生活の質）の向上及び生きがい支援に努めた。
- ・ショートステイの年間稼働率は101.7%、年間延利用人数は4,466人となった。減少した原因は、ショート利用者の死亡と施設入居が当初見積もっていた数より増加したことである。
- ・ショートステイについて、昨年度に引き続き、環境の整備に取り組んだ。一人一人に卓上の時計を準備し、カレンダーの設置、ベッド・車椅子の離床センサーの補充、車椅子のクッションの補充、送迎車の車の車内の清掃・整備を行った。また、機能訓練に関しても、担当者とは相談を重ね、利用者にあった内容での訓練を行うようにしてきた。

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	278,333,000	279,019,000	285,731,000	284,580,000
	決算	286,715,711	281,655,157	289,907,948	
支出	予算	255,885,000	262,834,000	269,333,000	264,565,000
	決算	276,184,374	268,942,643	277,492,632	
収支	予算	22,448,000	16,185,000	16,398,000	20,015,000
	決算	10,531,337	12,712,514	12,415,316	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンハイム荒川全体で、ボランティア延べ337人、実習生延べ4人を受け入れた。 ・保育園交流を9月と12月に実施。他に潤徳女子高校との交流（ボランティア、施設紹介）を実施した。 ・敬老祭、納涼祭などの大きな行事の際は、地域の町会長をはじめ婦人部、青年部の皆様と連携している。 ・給食について、肉・パンを区内業者から調達している。また、有料理髪について区内業者を活用している。 ・区民雇用率26.0%、障害者雇用率1.50%

総評

[サービス面の評価]

- ・開設から17年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・入院や死亡の利用者が多い中、目標を上回る利用率を達成できたことは評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住3-14-17
指定管理者	名称	社会福祉法人 上宮会
	所在地	荒川区東日暮里2-29-8
施設開設年月日		平成7年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年2月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型35名 : 認知症対応型10名 * 各々介護予防含む</p>
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイについては、1日平均利用者数30名で年間稼働率80%を目指す。 ・認知デイについては、1日平均利用者数5名で年間稼働率40%を目指す。 ・担当職員の援助技術の向上と個別援助を充実させ、利用者一人一人の満足感と安心感を高める。 ・定期通院や外出等で事前に欠席が予定されている時は、利用日を変更するなどの振替利用を前向きに働きかけて、利用率の向上に結びつくよう努める。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・一般デイは1日平均利用者25名、年間稼働率71.0%となった。 ・認知デイは1日平均利用者6.8名、年間稼働率56%となった。 ・月曜日～土曜日までの毎日午前中に機能訓練指導員を中心に、介護職、看護職、相談職が協力して、一般デイ71%、認知デイ20%、介護予防96%、全体で63%の方が「疼痛の緩和」「持久力の向上」「筋力の向上」等を目的とした個別機能訓練を実施した。また、毎日昼食前の30分程度「嚥下体操」を実施したことで、誤嚥事故等の発生を防止することができた。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	96,835,000	93,391,000	94,564,000	97,719,000
	決算	95,162,926	94,869,133	100,624,463	
支出	予算	90,215,000	88,311,000	86,638,000	89,525,000
	決算	91,856,195	97,874,866	92,905,033	
収支	予算	6,620,000	5,080,000	7,926,000	8,194,000
	決算	3,306,731	-3,005,733	7,719,430	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サンハイム荒川全体で、ボランティア延べ337人、実習生延べ4人を受け入れた。 ・保育園交流を9月と12月に実施。他に潤徳女子高校との交流（ボランティア、施設紹介）を実施した。 ・敬老祭、納涼祭などの大きな行事の際は、地域の町会長をはじめ婦人部、青年部の皆様と連携している。 ・給食について、肉・パンを区内業者から調達している。また有料理髪について区内業者を活用している。 ・区民雇用率31.6%、障害者雇用率1.50%

総評

[サービス面の評価]

- ・開設から17年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・四季折々の趣向を凝らした栄養バランスの良い行事食を提供し、好評であった。主な食材を区内業者から調達していることも評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上宮会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立特別養護老人ホーム花の木ハイム荒川
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護と認定をされ、常時介護が必要で在宅介護を受けることが困難な高齢者に対し、入浴、排せつ、食事等の日常生活上の介護や機能訓練、健康管理等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）特養50名・ショート6名</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特養ホーム・ショートステイとも目標稼働率を100%とする。 ・ 福祉施設としての職員の質の向上を図るとともに、一人一人が責任ある業務に努めるよう、内部研修、外部研修等を積極的に進める。 ・ 地域における介護ニーズを常に把握し、介護の拠点としての役割をさらに充実させるとともに、お元気ランチ等の介護予防事業を引き続き行い、閉じこもりがちな在宅高齢者の外出機会や体力づくりの援助を行う。 ・ 近隣町会と組織する「やまぶき会」の活動を中心に、防災協定をはじめ、人と人が協力し合い、安心して生活できる地域づくりに努める。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特養ホームの稼働率は95%、入所時の平均要介護度は4.5であった。 ・ ご家族参加のケアプラン会議が定着してきた。会議ではご家族に利用者の状況をお伝えするとともに、今後の方向性の確認も行うようにした。 ・ ショートステイの稼働率は91%であった。入院または退所空床の利用が154日、1人当たりの平均利用日数は6.9日/月であった。 ・ 身体拘束廃止に向けた取り組みと合わせて虐待防止に関する取り組みの一環として「言葉づかい」の見直しなどを行った。 ・ 福祉用具の見直しや外部講師による勉強会を実施し、重度化している利用者への対策を行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	249,596,000	246,065,000	254,820,000	249,701,000
	決算	249,187,419	251,633,606	247,236,595	
支出	予算	248,093,000	238,060,000	253,244,000	248,113,000
	決算	244,292,972	247,308,494	246,304,245	
収支	予算	1,503,000	8,005,000	1,576,000	1,588,000
	決算	4,894,447	4,325,112	932,350	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月2回歌の会を開催し、懐かしい歌を地域の方と一緒に楽しんだ。(参加人数35名) ・ やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催した。 ・ ボランティアの受け入れを行った。(延人数196名) ・ 建物等設備保守管理、エアコン保守管理、自家用電気工作物保守、消防設備等点検について区内業者と契約している。また、給食について、パン・肉を区内業者に委託している。 ・ 区民雇用率40.5%、障害者雇用率3.30%

総評

[サービス面の評価]

- ・ 近隣町会の拠点である「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として従来から継続してきた喫茶の会場を増やしたり、防災協定をはじめ、安心して生活できる地域づくりに貢献している。
- ・ 動物介在療法が活発に行われており、利用者からも好評である。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立花の木ハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川5-47-2
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成11年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成11年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型40名 : 認知症対応型12名 *各々介護予防含む</p>
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防通所介護・通所介護の目標稼働率は75%、認知症対応型通所介護の目標稼働率は65%とする。 ・介護予防通所介護においては、利用者の生活の基本は居宅であることをふまえ、要介護状態とならないようにするため、日々の活動に目標を設定して、サービス提供を行う。 ・個別機能訓練加算を設定して、定期的な身体機能評価に基づき、個人が目標を持って様々な活動参加ができるように支援を行う。 ・認知症対応型通所介護においては、認知症であっても、可能なかぎりその地域の中で自立した日常生活を営むことができるよう支援する。また、認知症症状の理解を深め、疾患に配慮した活動内容をユニット内もしくは個々の状態に合わせて支援を行う。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防通所介護・通所介護の稼働率実績は69.2%、認知症対応型通所介護の稼働率実績は48.5%であった。 ・介護予防通所介護において、サービス提供を通して利用者の身体的・精神的な安定が図られ、介護予防に資する事業を行っている証明である「事業所評価加算」の算定が認められた。 ・通所介護においては、利用者全員に対して「個別機能訓練加算」を算定して、機能訓練計画に基づき、サービスの提供を行った。また、介護に関する相談や家族の支援にも力を入れ、スムーズなサービス利用ができるよう支援を行った。 ・認知症対応型通所介護においては、機能訓練を軸にしたサービスを提供するとともに、利用者の特性に応じた支援を展開した。また、利用者の重度化に対応できる職員配置の体制作りや家族の介護相談等も積極的に行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	104,458,000	113,047,000	111,796,000	103,879,000
	決算	108,165,699	109,997,509	100,980,829	
支出	予算	96,658,000	97,744,000	111,296,000	101,507,000
	決算	90,487,173	103,910,770	102,138,716	
収支	予算	7,800,000	15,303,000	500,000	2,372,000
	決算	17,678,526	6,086,739	-1,157,887	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回歌の会を開催し、懐かしい歌を地域の方と一緒に楽しんだ。(参加人数約35名) ・やまぶき会と荒川社協との協力により閉じこもりがちな高齢者のための喫茶を開催した。 ・ボランティアの受け入れを行った。(延人数196名) ・建物等設備保守管理、エアコン保守管理、自家用電気工作物保守、消防設備等点検について区内業者と契約している。また、給食について、パン・肉を区内業者に委託している。 ・区民雇用率52.6%、障害者雇用率3.30%

総評

[サービス面の評価]

- ・機能訓練に力を入れており、「事業所評価加算」の算定が認められ、在宅生活に資するサービス提供に努めている。
- ・近隣町会の拠点である「やまぶき会」を中心に、地域に根ざした施設として従来から継続してきた喫茶の会場を増やしたり、防災協定をはじめ、安心して生活できる地域づくりに貢献している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西日暮里5-36-1
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成3年2月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成3年2月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日(5年間)
業務内容		要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。 (定員)通所型40名 *介護予防含む
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・目標稼働率を85%以上とする。 ・口腔機能向上加算を6月より行っていく。看護師を中心に介護職員も学ぶ。(初めは1/3の利用者を対象に行う。) ・昨年は終末ケアの利用者や虚弱な認知症の利用者の転倒があり緊急搬送が多かった。今年度はそれらを踏まえ、ケアを充実していく為に積極的に研修に参加し利用者の安全、安心を確保していくこととする。 ・実習生の受け入れ、ボランティアの受け入れ、地域交流として保育園との交流、お元気ランチ、脳の健康教室、家族介護者教室、ボランティア感謝祭を行っていく。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・平均稼働率82.1%、1日平均利用者32.8名、平均介護度2.5であった。 ・口腔機能向上加算について11月から開始し、2名の利用者に行った。 ・利用者一人一人が安全、安心に楽しめるセンターを目標に看護師や理学療法士を中心として職員の研修(基本介護技術)移動、移乗介助等を実施し、全職員が参加でき、介護に役立てることが出来た。 ・筋力トレーニングのソフトを導入し、介護予防の利用者中心に自荷重による筋力トレーニングをおこなった。また、個別についてはセンターでも出来る運動プログラムを体力測定の評価に合わせて理学療法士が作成し、実施した。 ・認知症の維持改善を目的とした「くもん学習療法」を希望者に実施した。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	96,472,000	102,657,000	101,837,000	102,662,000
	決算	102,049,839	110,059,281	100,305,837	
支出	予算	92,395,000	95,064,000	99,712,000	101,797,000
	決算	94,151,420	96,808,584	99,292,677	
収支	予算	4,077,000	7,593,000	2,125,000	865,000
	決算	7,898,419	13,250,697	1,013,160	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A-
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A-
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お元気ランチ」を週1回、定員14名で実施した。 ・65歳以上の荒川区民を対象に「脳の健康教室」を週1回（6ヶ月間）地域の学習ボランティア中心で実施した。 ・保育園交流（月1回）、納涼祭、敬老会を実施した。 ・清掃、空調設備点検、水質検査について区内業者を活用している。 ・区民雇用率75.0%、障害者雇用率2.04%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・筋力トレーニング、くもん学習療法、口腔・爪ケア、家族介護者教室などのサービスメニューが充実している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 福祉推進課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区町屋7-2-15
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成5年3月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成5年3月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型40名 * 介護予防含む</p>
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標稼働率を85%とする。 ・ 常勤理学療法士を中心に機能訓練計画をたて、計画に基づき看護師・相談員・介護職が協働し、利用者が意欲的に機能訓練を実施できるように援助する。また、3ヶ月毎にモニタリングを実施する。 ・ 体温・血圧・脈拍の測定、身体状況の観察を実施。体調不良の利用者に対しては、主治医や家族と連絡を取り、必要に応じて早期受診を勧める。また、連絡ノートを活用し、家族や他サービス事業者・主治医との情報交換に役立てる。 ・ 心身機能に応じた食事・入浴・排泄・着替えなど日常生活の基本動作訓練を活動に組み入れる。そして機能訓練指導員を中心に介護計画に基づいた生活機能の維持・改善に向けた訓練を実施する。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平均稼働率83.7%、1日平均利用者数34名、平均要介護度2.3となった。 ・ 機能訓練の充実したデイサービスとしてケアマネージャーや家族から評価を受け、訓練目的の見学者及び新規利用者も増加となった。 ・ 地域高齢者、家族が気軽に安心して利用できる施設としてころばん体操、セラバン体操、お菓子作り教室、絵手紙教室、お元気ランチ、脳の健康教室等を積極的に行った。参加を通じて、相談やその必要性に応じてサービスを提供する機会にもなった。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	112,961,000	110,859,000	113,652,000	108,876,000
	決算	106,765,396	113,544,783	114,219,683	
支出	予算	99,395,000	106,198,000	105,355,000	105,936,000
	決算	101,268,836	103,649,207	113,007,490	
収支	予算	13,566,000	4,661,000	8,297,000	2,940,000
	決算	5,496,560	9,895,576	1,212,193	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A-
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習生及びボランティアとして、延べ325名を受け入れた。 ・地域交流のコミュニティの育成の一助として、談話室の無料貸し出しを実施している。 ・清掃の一部について区内業者を活用している。 ・区民雇用率57.1%、障害者雇用率2.04%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・機能訓練が充実した施設を目指しており、常勤の理学療法士も配置されるなど、力を入れて取り組んでいる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 福祉推進課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住中部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区南千住4-9-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 聖風会
	所在地	足立区花畑4-39-10
施設開設年月日		平成12年4月24日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成12年4月24日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容		<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型30名 * 介護予防含む</p>
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・24年度の制度改正はデイサービスにとって経営的に厳しい状況が予想されるため、今年度も引き続き安定した経営を最重点目標とする。そのため、サービス内容の見直し（利用者のニーズにあったサービスの提供や送迎体制の効率化等）や介護予防の方の積極的な受け入れ、またケアマネージャー事務所や地域へ向けてのPR活動を行い、年間利用率80%を目指す。 ・職員間の連絡を密にしながら、利用者の個別ニーズにあったサービスの提供に努め、利用者一人ひとりが安心して楽しく利用できるセンターを目指す。 ・24年度の制度改正を見据え、情報収集に努める。 ・利用者一人ひとりについて「通所介護計画書」を作成し、その目的・内容に沿ってサービスを提供する。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、年平均利用率は83.3%、年平均介護度は2.5という結果であった。前年比1.4%アップとなり、目標利用率が達成できた。これは、サービス内容の見直し（入浴利用人数の増や送迎の効率化等）の実施や、地域の方達やケアマネ事業所等へのPRが浸透してきたためと考えられる。 ・個々の利用者の個別機能訓練計画書を作成し、利用者一人一人にあった訓練を理学療法士の指導のもと実施した。セラバンド・棒・ボール等を使用しながらのリハビリ体操、音楽に合わせた体操等「楽しくできる機能訓練」を目標に行った。また、リハビリ器具（起立台・平行棒・プーリー・エアロバイク等）を使用しながら個々の利用者の身体機能の低下防止、維持向上に努めた。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	74,087,000	77,701,000	75,142,000	76,089,000
	決算	66,287,384	75,357,986	77,923,017	
支出	予算	72,762,000	73,413,000	72,828,000	74,922,000
	決算	67,568,143	69,165,249	70,446,197	
収支	予算	1,325,000	4,288,000	2,314,000	1,167,000
	決算	-1,280,759	6,192,737	7,476,820	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A-
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園との交流会(年1回)、小学生との交流会(年2回)や小・中学生の体験実習の受け入れ(年4回)を行った。 ・年間延べ110人のボランティア及び述べ204人の実習生を受け入れた。 ・お元気ランチを実施した(延べ人数290人)。 ・清掃、空調設備点検、水質検査は区内業者を活用した。 ・区民雇用率64.7%、障害者雇用率2.04%

総評

[サービス面の評価]

- ・職員の安定確保と処遇改善、育成・研修が非常に充実しており、働きやすい施設づくりを目指している。その結果利用者にとって良いサービスが提供できる環境にあると評価できる。
- ・開設から12年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・常勤の理学療法士による楽しくできる機能訓練や入浴、送迎サービスを見直し、充実したものとなっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人聖風会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川東部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区荒川1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成6年12月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成6年12月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型35名 : 認知症対応型10名 * 各々介護予防含む</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険の被保険者（利用者）が介護予防・要介護状態になった場合においても、可能な限りその居宅において、自らの有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるような機能訓練及び必要な日常生活上の介護を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・ 介護度の高い介護者や複雑な問題を抱える高齢者家族など、他の施設では受け入れできなかった「困難ケース」などを行政機関や関係機関などと連携しながら積極的に受け入れていく。 ・ 通所介護目標稼働率85%、認知症対応型通所介護目標稼働率75%。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況であるため、月・水・木・金・土の週5日間実施した。 ・ 利用者ニーズを把握するために「利用者満足調査アンケート」「外出希望アンケート」「食事満足度アンケート」を実施した。サービスを多面的に見て満足度の把握を行い、施設としての特色を明確にしていくために、昼食の充実や活動の充実を行った。 ・ 地域ボランティアの協力により、定期的に演芸を楽しむなど、活動内容の幅を広げ、多様なニーズに対応することを心がけた。 ・ 通所介護：稼働率77.1%、延べ利用者数7,928名、平均要介護度1.8 ・ 認知症対応型通所介護：稼働率58.5%、延べ利用者数1,719名、平均要介護度3.1 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	92,662,000	106,791,000	112,119,100	115,895,000
	決算	105,796,968	107,062,503	106,671,013	
支出	予算	92,662,000	106,791,000	112,119,100	115,895,000
	決算	88,802,269	91,391,681	98,328,156	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	16,994,699	15,670,822	8,342,857	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスセンターを地域の方々に知っていただくために、地域住民・利用者家族・保育園児を見学会や行事に招待し交流を図った。 ・毎月「お楽しみ体操」と「歌声喫茶」実施し、地域の方々や利用者家族が参加できる機会を提供。延べ66名が参加。 ・ボランティアを延べ33名、区内中学校の職場体験を13名、理容ボランティアを延べ24名、いきいきボランティアを延べ72回受け入れた。 ・学校教諭免許取得希望者が社会福祉の現場を知り、実感する場を提供するための介護等体験を32名受け入れた。 ・区内事業者から食材の一部を調達している。 ・区民雇用率73.9%、障害者雇用率2.86%

総評

[サービス面の評価]

- ・開設から18年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・送迎車両の乗降場と玄関が離れているため、利用者が安全に歩行できるように手すりを設置した。
- ・入浴日を週5日実施し利用者へのサービスを向上させている。
- ・サマーボランティアスクールに代表されるボランティアの受け入れを積極的に行っていることは施設の特徴として評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立西尾久西部在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区西尾久6-17-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成7年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型35名 : 認知症対応型10名 * 各々介護予防含む</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の被保険者（利用者）が介護予防・要介護状態になった場合においても、可能な限りその居宅において、自らの有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるような機能訓練及び必要な日常生活上の介護を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る。 ・介護度の高い介護者や複雑な問題を抱える高齢者家族など、他の施設では受け入れできなかった「困難ケース」などを行政機関や関係機関などと連携しながら積極的に受け入れていく。 ・通所介護目標稼働率85%、認知症対応型通所介護目標稼働率75%。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・入浴は希望者のみに実施しているが、現在の登録者のほとんどが希望している状況であるため、平成23年度より入浴日を月～土の週6日間に増やした。 ・利用者やその家族が一人ひとり、安心して楽しみに利用できるセンターを目指し、利用者ニーズを把握するための「お食事満足度調査」を実施し、サービス内容の充実に努めた。 ・知的障がいや身体障がいがある方を対象に、日々の生活の充実と社会的自立に必要な生活作業支援等を実施する「尾久生活実習所」との併設であり、積極的に交流事業を行った。 ・通所介護：稼働率76.2%、延べ利用者数7,867名 平均要介護度2.2 ・認知症対応型通所介護：稼働率44.3%、延べ利用者数1,306名 平均要介護度3.7 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	100,083,000	108,022,000	112,204,000	113,649,000
	決算	107,409,185	104,588,577	103,719,832	
支出	予算	100,083,000	108,022,000	112,204,000	113,649,000
	決算	84,439,039	94,026,275	97,026,051	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	22,970,146	10,562,302	6,693,781	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスセンターを地域の方々に知っていただくために、地域住民・利用者家族・保育園児を見学会や行事に招待し交流を図った。 ・社会福祉協議会が地域住民共同事業として実施している「ふれあいいきいきサロン」に職員が出向き、介護情報の提供やミニレクリエーションを提供した。 ・ボランティアを延べ116名、区内中学校の職場体験を14名受け入れた。 ・学校教諭免許取得希望者が社会福祉の現場を知り、実感する場を提供するための介護等体験を32名受け入れた。 ・区内事業者から食材の一部を調達している。 ・区民雇用率69.6%、障害者雇用率2.86%

総評

[サービス面の評価]

・開設から17年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い替えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。

・入浴日を週6日に増やし利用者へのサービスを向上させている。

・サマーボランティアスクールに代表されるボランティアの受け入れを積極的に行っていることは施設の特徴として評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立東日暮里在宅高齢者通所サービスセンター
	所在地	荒川区東日暮里3-18-16
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子1-13-20
施設開設年月日	平成6年11月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成6年11月1日	
指定期間	平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）	
業務内容	<p>要介護又は要支援と認定された方を対象に、利用者が居宅で自立した日常生活を営めることを目指し、入浴・排泄・食事等の介護、生活相談、機能訓練等のサービスを提供する。</p> <p>（定員）通所型40名 : 認知症対応型12名 * 各々介護予防含む</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、高齢者介護の充実、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図る。 また、21年4月の介護保険法の一部改正に伴い、各サービスの報酬や基準の見直しが行われたところであり、介護従事者等の人材確保・処遇改善等を行い、効率的なサービスの提供や新たなサービスの提供に努めていく。 併せて介護保険の基本理念である「自立支援」を実現し、家族等に対する身体的、精神的苦勞の軽減と地域福祉の増進を図る。 ・ 年間稼働率は82%を目標とする。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な介護サービスを提供し、自立生活の援助、心身機能の維持向上を図るよう努めた。 デイサービスの利用率向上のため、荒川区ホームページの介護事業者情報提供システム「ユーステム」へ空き情報を回答するほか、当センターホームページにも同様に掲載し月1回行っている関係事業所への利用実績報告の際、各事業者に空き情報を提供した。 通院等で朝の準備ができないため当センターを欠席予定とした利用者に対し、可能な限り個別に送迎を行うこととした。 ・ 23年度の年間延べ利用者数は12,259人、稼働率は80.0%になり、目標を若干下回った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	131,052,000	135,202,000	140,758,000	145,692,000
	決算	139,451,229	143,594,019	139,558,415	
支出	予算	128,969,000	132,123,000	136,076,000	135,787,000
	決算	126,800,149	139,042,203	127,112,715	
収支	予算	2,083,000	3,079,000	4,682,000	9,905,000
	決算	12,651,080	4,551,816	12,445,700	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の学校等との積極的な交流を図るとともに、区立中学校生徒の「勤労留学」の受入れを本年度も引き続き実施した。ボランティアや実習生を積極的に受入れ、実習の場として提供するとともに、施設行事への受入れも積極的に推進した。また、施設公開行事「第5回東日暮里ふれあい祭り・寄っといデイ」の開催を冬から秋へ移行し、家族や地域の方が気軽に参加しやすいイベントとして実施した。 ・ 調理は直営であり、肉・魚・野菜・米とも区内業者から調達しており、評価できる。 ・ 区民雇用率52.9%、障害者雇用率0.97%

総評

[サービス面の評価]

- ・ 開設から18年が経った設備・内装・備品等について、修繕・買い換えを進め、利用者のサービス向上に繋がる環境整備を図っている。
- ・ バイキング方式など魅力ある食の提供に努めるとともに、家族介護者教室にて試食会を実施し、食事サービスの充実を図っている。また、調理は直営で、食材を区内業者から調達していることも評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川老人福祉センター
	所在地	荒川区荒川 1-34-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住 1-13-20
施設開設年月日		昭和45年12月1日開設
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成7年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	(1) 事業に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活、就労、健康等の相談及び指導に関する業務 ・機能回復訓練その他健康の保持増進に関する業務 ・教養の向上及びレクリエーションに関する業務 (2) 本施設の維持管理に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び付属設備の保守点検に関する業務 ・施設の清掃に関する業務 ・備品の管理の関する業務 ・その他の維持管理に関する業務 	
平成23年度の事業計画		
<p>(1) 健康相談及び生活相談事業 ○健康相談（嘱託医による健康診査、健康相談員の出張健康相談）○生活相談（生活相談員の出張生活相談）○耳より情報（生活相談員・健康相談員・リハビリ指導員を中心に推進員・用務員の協力を得ながら健康、生活に役立つ情報やより良い生活のワンポイントアドバイスを行う。）</p> <p>(2) 機能訓練事業（脳卒中などによる後遺症がある方や身体機能の低下が認められる要介護認定非該当の方を対象として、毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導・訓練（週3回）と健康相談員による機能訓練を行う。（週3回））</p> <p>(3) 健康保持・増進事業（週2回入浴サービスを行い、いこい室体操、いきいき体操等の体操を行うことで健康保持・増進に努める。）</p> <p>(4) 文化教養教室・定例事業等（趣味や仲間づくり自主的なサークル活動を奨励するために、教室や各種行事を開催する。）</p> <p>(5) 公開講座（IT講座や着物着付け講習会など区民が関心を持つものを題材に、また季節にあった講座をすることで、広く区民の参加を促せる。）</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>開館日数（298日）利用者総数55,411人（男性25,667人、女性29,744人）</p> <p>(1) 健康相談及び生活相談事業〔嘱託医による健康診査（467人）、健康相談員の指導援助〔3,451人〕生活相談員の問題解決のための支援（1,495人）〕</p> <p>(2) 機能訓練事業〔毎日の集団訓練を基礎とし、リハビリ指導員による個別指導等を週3回実施した。また、看護師指導による自主訓練を週3回実施した（1,105人）〕</p> <p>(3) 健康保持・増進事業〔入浴事業週2回（2,944人）いきいき体操（2,343人）ころばん体操（1,379人）〕</p> <p>(4) 文化教養教室・定例事業等〔各種行事（4,061人）定例事業（4,081人）各種教室（6,254人）いこい室事業（11,173人）ひろば館事業（1,668人）〕</p> <p>(5) 公開講座〔デジタルカメラ入門講座（111人）マジック講座（44人）携帯電話講習会（168人）IT講習会（700人）〕</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	65,670,000	65,374,000	61,522,000	61,835,000
	決算	57,983,765	59,217,965	59,800,843	
支出	予算	65,670,000	65,374,000	61,522,000	61,835,000
	決算	57,983,765	59,217,965	59,800,843	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが行っているふれあいサロンを地域に開放している。地域の方をサマーボランティアとして受け入れている。 ・再委託先は区内業者が主で、業者が区内に無い時のみ他区にしている。 ・14人中10人が荒川区民である。 ・法人としての障害者雇用率は2.86%である。

総評

[サービス面の評価]

施設内はきれいに清掃され、設備は利用しやすくなっている。教室や行事等も各種あり、教室や公開講座参加者のアンケート結果を次の運営に反映させるなど努めており、利用者の評価も高い。

また、利用者は、各事業を通して仲間づくりや人との関わりやふれあいを求めており、職員の接する態度や親切が利用者満足度で評価され、運営していく上でプラスの要素となっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 高齢者福祉課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立授産場
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
指定管理者	名称	公益社団法人 荒川区シルバー人材センター
	所在地	荒川区東尾久4-32-7
施設開設年月日		昭和53年3月東京都から移管
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<p>荒川区立授産場条例の規定に基づく業務</p> <p>(1) 事業に関する業務</p> <p>ア：作業及びそれに必要な設備の提供に関すること。</p> <p>イ：作業の相談及び指導に関すること。</p> <p>(2) 本施設の維持管理に関する業務</p> <p>ア：施設及び付属設備の保守点検に関する業務。</p> <p>イ：施設の清掃に関する業務。</p> <p>ウ：備品の管理に関する業務。</p> <p>エ：その他維持管理に関する業務。</p> <p>(3) その他区が必要と認める業務。</p>
平成23年度の事業計画		
<p>○23年度基本方針は、昨年度と同様で以下の4点である。</p> <p>1：作業指導、健康増進、生きがいの高揚に取り組む。</p> <p>2：工賃確保のため、新規受注業者の開拓、毎月の工賃の平準化。</p> <p>3：月2回の健康診断と休憩時のラジオ体操の励行。</p> <p>4：個人情報保護の徹底。</p> <p>○利用者については、上限21名の利用者確保を目標としている。</p> <p>○受注については、社会状況を踏まえると困難ではあるが、新たな業者の開拓と毎月の工賃の平準化を目標としている。</p>		
平成23年度の事業実績		
<p>○23年度末利用者は、20名である。</p> <p>○受注については11社を確保している。</p> <p>○月別平均工賃は、平均34,787円(22年：33,777円)となっている。平均工賃は若干上がった。最高月は12月の49,527円(22年度12月49,363円)。最低月は5月の25,158円(22年度2月21,236円)となっている。</p> <p>○健康管理については、毎月2回(第2・4火曜日)に嘱託医による問診、血圧測定等を実施し、利用者の健康管理に取り組んだ。</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	17,460,000	17,422,000	16,720,000	16,435,000
	決算	16,372,816	16,502,409	16,518,136	
支出	予算	17,460,000	17,422,000	16,720,000	16,435,000
	決算	16,372,816	16,502,409	16,518,136	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の性格上、地域を対象とした事業は実施していないが、会議室を地域住民の利用に供している。 ・ 23年度授産場が受注した事業者11社中6社は荒川区の企業である。また、清掃等の施設管理を再委託している業者の多くが区内企業である。 ・ 利用者はすべて区民である。 ・ 障害者の利用者はいない。

総評

[サービス面の評価]

○月一人当たりの平均工賃は34,787円であり、昨年度の33,777円より若干あがった。

○自らが働いて工賃を得るという「生きがい」を付与するという点で評価できる。

○授産場の会議室について、地域住民の利用に供している。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である公益社団法人荒川区シルバー人材センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有しているが、成長性（事業収入の伸び率）が高まること望ましい。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 福祉部 課 高齢者福祉課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川生活実習所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身につけ、生活を楽しむ活動を通して生活の安定を図る。 ・ 諸活動に取り組むことで、生活経験をさらに豊かにする。 ・ 施設と家庭が連携し、相互理解を深め支援の一貫性を図る。 ・ 地域の施設として地域住民との交流を深める活動を行う。 		
平成23年度の事業実績		
<p>(定員) 40人 (利用者数) 33人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活活動支援(クラス活動)として、清掃、食事等を行い、日常生活活動として健康づくり、運動等を行った。また、仲間づくりを通して、安定した人間関係の構築を図った。 ・ 全体活動として、創作・自主生産活動を行い、個別活動としてウォーキング、スイミング、農園作業、調理実習等を行った。 ・ 施設公開や地域商店街での買物、区内施設との交流等を通じて地域住民やボランティアとふれあった。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	184,178,500	178,540,000	196,738,000	195,432,000
	決算	171,953,954	173,237,897	183,387,710	
支出	予算	184,178,500	178,540,000	196,738,000	195,432,000
	決算	171,953,954	173,237,897	183,387,710	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・区民雇用率34.9%（施設全体） ・2.86%（法人全体）

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者の生活活動や作業活動など個々のニーズに基づいた支援が適切に実施されており、利用者アンケートの結果では、施設に対する満足度が96%に達するなど大変良好な評価を得ている。
- ・利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。
- ・今後も、利用者の視点に沿った生活支援や作業支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立荒川福祉作業所
	所在地	荒川区荒川1-53-9
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		昭和48年6月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日
業務内容		・知的障がい又は身体障がいのために就労能力の限られている人を対象に、作業指導及び生活指導等を通じて社会の一員として充実した生活ができるよう、自立援助を行う。
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援事業B型については、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入増を図る。 ・就労移行支援事業については、利用者の状況、保護者の要望を尊重して就職指導を行い、一般企業への就職を目指す。 ・家庭及び関係機関との連携並びに地域の人々との交流を図り、地域での自立生活を支援する。 		
平成23年度の事業実績		
<p>(定員) 就労継続支援事業B型 48人 就労移行支援事業 7人 (利用者数) 就労継続支援事業B型 46人 就労移行支援事業 1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業方針として、利用者の特性を考慮し、作業工程を分析して、その能力や機能を高めるよう指導し、工賃収入は前年度より1人平均約1,100円増となった。 (平均月額工賃 22年度8,892円⇒23年度9,996円) ・生活指導として、個別的指導及び所外活動等集団的な指導を行い、社会生活に必要な適応能力の向上を図った。 ・就労指導としては、利用者の心身の状況、性格を慎重に検討し、保護者の意見、要望を尊重して就職指導を行い、就労移行支援利用者1名が一般企業への雇用となった。また就労継続支援B型利用者の1名も企業実習を経て一般企業への雇用となった。 ・一般企業での指導、訓練により効果が期待できる利用者2名について一般企業での実習を行った。 ・異なった環境や仕事を通し、地域交流の促進や社会参加の拡大を図るため、アクロスあらかわ喫茶コーナー「ステップ」に4名の体験実習を行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	184,178,500	178,540,000	196,738,000	195,432,000
	決算	171,953,954	173,237,897	183,387,710	
支出	予算	184,178,500	178,540,000	196,738,000	195,432,000
	決算	171,953,954	173,237,897	183,387,710	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設公開や地域の行事への参加を積極的に実施している。 ・ 日常使用する消耗品等は区内業者を活用している。 ・ 区民雇用率 34.9% (施設全体) ・ 2.86% (法人全体)

総評

[サービス面の評価]

- ・ 利用者アンケートの結果では、施設に対する満足度が98%に達するなど大変良好な評価を得ている。
- ・ 就労継続支援事業は、利用者の平均工賃収入が増収となり、また、1名が一般企業への就労となるなどの成果があり評価できる。
- ・ 就労移行支援についても、1名の利用者が一般企業への就労となり事業実績が達成された。
- ・ 利用者への安全確保、健康管理、個人情報保護など適切な運営がなされており、地域行事への参加や施設公開など地域との交流も積極的に行っている。
- ・ 今後も、利用者のニーズを踏まえた作業支援や生活支援を実施し、施設への満足度が向上することが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 福祉部 **課** 障害者福祉課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	尾久生活実習所本所 / 尾久生活実習所分場
	所在地	荒川区西尾久6丁目17番3号 / 荒川区西尾久4丁目6番4号
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1丁目53番20号
施設開設年月日		平成7年4月1日 / 平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・重度の知的障がい者を対象に社会生活の向上、地域での自立生活支援、社会参加を目的とし、日々の生活の充実と生きがいを高める支援を行う。
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、各種事業を実施する。 ・利用者や施設への理解等を深めるため、地域の方々との交流を積極的に取り組むとともに、様々なイベントなど交流を通して、地域で生活していくスキルを学ぶ機会とする。 ・利用者の個々の健康状態等に応じ、各個人に適した食事を提供するとともに、食生活を豊かにし、楽しい雰囲気の中で、マナーや社会性を養う。 ・利用者に対して疾病の予防と早期発見に努め、健康の保持・増進を図る。 ・利用者の通所のため、マイクロバスやリフト付ワゴン車を運行する。 ・所内での生活をより快適に、豊かなものにしていくために、保護者との連携を図り、相互理解を深める。 		
平成23年度の実績		
<p>(定員) 本所39人 分場19人 (利用者数) 38人 分場16人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立と生活能力の向上等を図るため、リズム体操、陶芸、調理実習など各種事業を実施した。 ・情報誌「あしおと」発行、施設公開「やかまし祭」、絵画展示などの実施を通じ、地域との交流を積極的に取り組んだ。 ・食生活を豊かにし、マナーや社会性を養うことを目的に利用者の健康状態等に応じた食事を提供した。自宅での現況を把握するため嗜好調査を行った。 ・利用者の疾病の予防と早期発見を目的に荒川保健所において健康診断を実施した。 ・利用者の通所のために、マイクロバス1台、リフト付きワゴン車5台運行した。 ・保護者会、グループ保護者会を開催を通じて、役員会の運営を支援することで保護者との連携を図り、相互理解に努めた。 ・多目的ホールの貸出実績 253件 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	215,834,754	216,671,137	215,627,571	223,397,705
	決算	216,286,514	217,124,497	216,075,891	
支出	予算	215,834,754	216,671,137	215,627,571	223,397,705
	決算	212,116,373	214,298,488	204,426,335	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	4,170,141	2,826,009	11,649,556	

(備考)

※尾久生活実習所及び尾久生活実習所分場の合算である。収支予算額・決算額は荒川福祉作業所の人件費、事業費を含んでいる。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設公開（やかまし祭）や利用者の作品（絵画）の商店等への展示などを通じ、障がい者や施設への理解や共感を深めている。 ・地元町会と合同で防災訓練を実施している。 ・区民雇用率 53.4%（施設） ・障がい者雇用率 2.86%（法人全体）

総評

[サービス面の評価]

- ・障がい者の基本的な生活習慣、生活能力の向上に取り組んでおり、充実したサービスの提供が行われている。
- ・施設公開や防災訓練などのイベント等を通じて、積極的に地域や地域住民との関わりや連携を図っており、地域に開かれた施設運営がなされていると評価できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 福祉部 課 障害者福祉課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者福祉会館（アクロスあらかわ）
	所在地	荒川区荒川2-57-8
指定管理者	名称	社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会
	所在地	荒川区南千住1-13-20
施設開設年月日		平成9年8月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成21年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいのある方を主とし、さらにはボランティアや障がいのない方も含めた区民の幅広い交流、文化活動、情報提供の場として、多目的ホール・会議室等を提供する。 ・ 障がい者向けの文化・教養講座、IT講習会、交流会等、各種事業を実施する。
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動・交流の場として、ホール・会議室等の貸出し等の管理・運営を行う。 ・ 文化・教養講座事業を実施する。（知的障がい者向け料理教室、リズム体操教室等） ・ IT講習会事業を実施する。（視覚障がい者向けIT講習会、介助者向けパソコンサポーター講座等） ・ 情報提供事業を実施する。（障害者福祉推進団体の作品展示・情報活動の提供、要約筆記講座、インターネットスポットの設置等） ・ ふれあい事業を実施する。（バリアフリー講座、親子ボランティア講座、ステージ発表会等） ・ その他各種事業を実施する。（ばん座位体操、アクロス・連合会まつり、体験発表会等） 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸室延利用件数：多目的ホール1,569件、第一・第二会議室993件、第三会議室200件 ・ 文化・教養講座事業（延参加者数）：知的障がい者向け料理教室17人、知的障がい者向けリズム体操教室64人、聴覚障がい者向け料理教室11名 ・ IT講習会事業（延参加者数）：視覚障がい者向けIT講習会21人、介助者向けパソコンサポーター講座30人、障がいのある方向けパソコン入門25人 ・ 情報提供事業（延参加者数）：要約筆記講座46人 ・ ふれあい事業（延参加者数）：バリアフリー講座172人、親子ボランティア講座71人、ステージ発表会14団体183人 ・ その他各種事業（延参加者数）：ばん座位体操595人、アクロス・連合会まつり30団体295人、体験発表会92人 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	39,568,028	42,041,762	42,146,080	39,984,536
	決算	38,635,821	41,888,324	39,308,567	
支出	予算	39,568,028	42,041,762	42,146,080	39,984,536
	決算	38,635,821	41,888,324	39,308,567	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の協力を得ながらの防災訓練を実施した。 ・ 消耗品は区内業者から購入、委託先は半数以上が区内業者。 ・ 区民雇用率60.0%（施設） ・ 2.86%（法人全体）

総評

[サービス面の評価]

- ・ 施設の基本的な管理・運営や各種事業は、事業計画に基づいて適切に行っている。
- ・ 利用者への対応や安全確認などは職員が適切に行い、評価できる。
- ・ 区民全般を対象としたアクロス・連合会まつりや地元町会と合同の防災訓練など、地域との関わりを持っていることは評価できる。
- ・ 区民の要望等の対応についてはすぐに解決できることは、早急に解決し、すぐに解決できないところについても区と連携しながら代替案も含めて検討するなどサービス向上に取り組んでいる。
- ・ 新規参加者の獲得や、利用率の向上においても、ニーズにあった講座の計画や申し込みやすい環境作り、利用しやすい会館づくりに努めており、今後もさらなる取り組みが期待できる。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人荒川区社会福祉協議会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立障害者グループホーム(ピアホーム西日暮里)
	所在地	荒川区西日暮里2-2-6
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
	所在地	新宿区西新宿8-3-39
施設開設年月日		平成6年4月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同生活援助事業（グループホーム）は企業及び福祉作業所等で就労している知的障がい者に居住の場を提供し日常生活の援助及び生活指導を行う。 ・ 緊急一時保護事業は、在宅の障がい者（児）を介護している人が、緊急的（疾病等）理由及びレスパイト（介護者の旅行や休養等）により一時的に介護できない時に本施設内で保護する。
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループホームの利用者支援として、利用者一人ひとりの人権と個性を尊重し、自己選択、自己決定に基づいた生活を送ることができるよう支援する。 ・ 緊急一時保護については、利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をし、利用者の満足度を高める。 ・ 利用者の安全を第一に考え、職員間のコミュニケーションを密にしていく。防災管理、健康衛生管理、安全確保に努める。 ・ 保護者や入居者の就労先、日中通所先をはじめ、荒川区や各医療関係機関等と連携を取り、情報交換を行う。 ・ 荒川区総合震災訓練等地域行事に積極的に参加する。 		
平成23年度の事業実績		
<p>(定員) グループホーム4人 緊急一時保護2人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループホーム利用者（4人）一人ひとりの人権と個性を尊重し、自己選択、自己決定に基づいた生活を送ることができるよう支援した。 ・ 緊急一時保護 延べ利用者数592人 利用者個々人の障がいの状態、心身の状態を把握し、適切な支援・サービスの提供をするよう努めた。 ・ 防災管理、健康衛生管理、安全確保に努めた。震度4以上の揺れがあった場合に区に状況報告を行った。 ・ 生活リズムの不安定な利用者については、保護者や区、医療機関等との情報交換を適切に行った。 ・ 荒川区総合震災訓練等地域行事に参加した。また、クリスマス会や利用者の成人祝いなどのイベントを行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	24,930,285	24,019,897	23,605,950	22,539,167
	決算	24,930,285	24,019,897	23,605,950	
支出	予算	24,930,285	24,019,897	23,605,950	22,539,167
	決算	22,445,734	23,903,959	23,605,950	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	2,484,551	115,938	0	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭り、川の手まつりや総合震災訓練等の区の行事に積極的に参加している。 ・日用品については区内で購入するようにしている。 ・世話人3人のうち2人は区民（内1人は住み込み）である。 ・障害者雇用率 2.0%（法人全体）

総評

[サービス面の評価]

- ・利用者の日常生活支援・施設管理や危機管理などは適切な運用が行われており、サービス全体として一定の評価ができる。今後も更なるサービスの向上が期待できる。
- ・本施設の世話人は、社会福祉士・介護福祉士等の資格を有し、障害福祉に通じた者が利用者の支援を行っている。
- ・利用者アンケートにおいても、世話人の対応や施設の環境等の評価は良好である。
- ・前年度の課題であった緊急時の対応についても、第一報が速やかに入るようになり評価できる。
- ・行事参加にも積極的に参加し、地域との交流を図っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都知的障害者育成会は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	----------	-----	----------	--------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立精神障害者地域生活支援センター（アゼリア）
	所在地	荒川区東尾久5-45-11
指定管理者	名称	社会福祉法人トラムあらかわ
	所在地	荒川区荒川6-42-7-101
施設開設年月日		平成15年1月
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がい者の社会復帰や自立、社会参加を促進するための日常生活の支援や相談を行う ・精神障がい者の地域交流活動に関する事業を実施する。
平成23年度の事業計画		
<p>地域活動支援センターI型として、次の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域活動支援…夕食会、グループ活動（女性・セルフヘルプ・自主活動・各グループ）、教養・趣味講座（茶道・園芸・囲碁将棋・バレーボール・卓球）、利用者ミーティング（当事者の自発的活動支援と交流）、利用者援助（地域交流室兼訓練室での利用者援助・外出レクリエーション） ・地域交流活動…ボランティアミーティング、公開講座・各種行事開催を通じた地域住民との交流） ・相談支援事業…電話相談・面接相談・フリースペースでの相談 ・指定相談支援事業…利用者からの日常生活全般相談・サービス利用計画の作成・居宅訪問による相談支援・電話相談。 ・その他「区受託事業」として、①荒川区デイケア ②精神保健福祉ボランティア育成のための連続講座・実習を行う。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の地域活動支援…夕食会（週1回）、グループ活動（女性・月1回）（セルフヘルプ・年4回）（自主活動・毎週）（自主グループ・不定期）、教養・趣味講座（月1回・茶道、園芸、囲碁将棋、バレーボール、カラオケ、上映会：月2回・卓球）、利用者ミーティング（年3回） ・地域交流事業…ボランティアミーティング（月1回）、公開講座（年2回）、各種催し（不定期・クリスマス会、新年会など） ・相談支援事業…電話・面接・フリースペース相談（年間延利用者数15,044名） ・指定相談支援事業…日常生活相談・サービス利用計画作成・居宅訪問・電話相談（年間利用者数13名） ・その他「区受託事業」 <ul style="list-style-type: none"> ①荒川区デイケア（週1回 延べ195名） ②精神保健福祉ボランティア育成のための連続講座・実習（延べ51名） 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	32,631,000	33,038,000	35,366,000	33,831,000
	決算	32,668,643	33,038,000	35,366,000	
支出	予算	32,631,000	33,038,000	34,111,555	33,831,000
	決算	32,668,643	33,038,000	34,111,555	
収支	予算	0	0	1,254,445	0
	決算	0	0	1,254,445	
(備考)					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との協働内容 ・ 区内事業者の活用 ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座実施にあたり、地域の公共機関等社会資源に広報の協力を得た。また、年末年始のイベントに、地域で居住活躍されている方に協力を依頼し実施している。 ・ 修繕依頼を区内業者にしたりして、業者選定は区内を優先している。 ・ 区民の雇用 15人中1人 6.7% (施設) ・ 障害者雇用率 0% (法人全体)

総評

[サービス面の評価]

- ・ 日常生活における援助等や電話相談・面接相談・フリースペースでの相談など、地域生活を送り自立促進のため、一人一人細かく丁寧なサービスがされ評価できる。
- ・ サービスを受身の立場だけでなく、地域住民の一人として子どもやお年寄りとの交流も見受けられ、生きがいや充実感を得る機会の提供にもなっている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人トラムあらかわは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	障害者福祉課
--------	---	-----	---	--------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区営住宅（西尾久七丁目住宅、西尾久三丁目住宅、南千住二丁目住宅、町屋七丁目住宅、南千住四丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区西尾久七丁目19番11号 他
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山
施設開設年月日		平成4年4月28日 他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日から平成24年3月31日
業務内容		1 区営住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務 3 その他区長が必要と認める業務
平成23年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）、計画修繕	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）	
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム保守、エレベーター保守等	
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備	
平成23年度の実績		
1 住宅営繕	一般修繕（ガス給湯器動作不良補修等27件） 空家修繕（畳表替え等16件）、計画修繕（給湯器取替等）を実施	
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は害虫が発生しなかったため実施せず）	
3 施設管理	受水槽清掃、排水管清掃、消防設備保守、安否確認システム、エレベーター保守等を実施	
4 清掃・管理	定期清掃（毎月1回）、その他清掃、機械警備を実施	

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	25,877,034	21,762,926	26,044,095	23,330,642
	決算	21,867,753	24,269,646	26,896,095	
支出	予算	25,877,034	21,762,926	26,044,095	23,330,642
	決算	21,867,753	24,269,646	26,896,095	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

21年度に比べて22年度に支出が大幅に増加した主な要因は、建物の経年変化(17年目)に伴う、設備の修繕・取替えの件数、工事単価が増加したためである。また、22・23年度は、開設当初からの入居者の死亡等による退去(22年度12件、23年度16件)により空家修繕の件数が増加、これも経年変化に伴い、より工事の規模、単価が大きくなっている。

23年度は計画修繕(町屋七丁目住宅、給湯器等)を実施したため、支出が増加している。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内事業者を活用している ・ 障がい者を雇用している ・ 環境・エコに関して取り組んでいる 	<p>23年度に実施した住宅営繕68件のうち、43件を区内業者に委託している。他区業者に委託した工事内容は、専門業者の修繕が必要なものが多い。</p> <p>障害者雇用率は、2.15%であり、法定水準(2.1%)を上回っている。(平成23年6月1日現在)</p> <p>環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、理事長を「環境最高責任者」とする社内推進体制を整備しており、事務所活動における環境対策として、省エネ行動、再資源化、グリーン購入、エネルギー使用量の把握などに努めている。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住居環境の整備について24時間体制による適切な管理がなされている。また、スケールメリットを活かしコストを低減しつつ区内業者の活用を図っており、良好な維持管理が行われている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である東京都住宅供給公社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面・財務面・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	福祉部	課	福祉推進課
--------	---	-----	---	-------

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	区民住宅（西日暮里三丁目住宅、東日暮里六丁目住宅、町屋八丁目住宅、町屋五丁目住宅）
	所在地	荒川区町屋五丁目9番2号他
指定管理者	名称	東京都住宅供給公社
	所在地	渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山
施設開設年月日		平成7年4月1日他
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日から平成24年3月31日
業務内容		1 区民住宅、共同施設及び附帯施設の保全、修繕及び改良に関する業務 2 共同施設の整備その他の住居環境の整備に関する業務 3 その他区長が必要と認める業務
平成23年度の事業計画		
1 住宅営繕	一般修繕、空家修繕（退去後の修繕）、計画修繕	
2 環境整備	樹木剪定（害虫駆除を含む）	
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、エレベーター保守 消防設備保守（町屋五丁目住宅）等	
4 清掃・巡回管理	定期清掃、巡回管理、床等日常清掃、ごみ置場等清掃	
平成23年度の実績		
1 住宅営繕	一般修繕（ガス給湯器動作不良補修等168件） 空家修繕（畳表替え等12件）、計画修繕（コンロ取替）を実施	
2 環境整備	樹木剪定を実施（害虫駆除は害虫が発生しなかったため実施せず）	
3 施設管理	受水槽清掃（町屋五丁目住宅）、排水管清掃、エレベーター保守 消防設備保守（町屋五丁目住宅）等を実施	
4 清掃・巡回管理	定期清掃（年4回）、巡回管理、床等日常清掃（週3回） ごみ置場等清掃（可燃ごみ収集日）を実施	

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	39,820,588	40,920,494	47,283,390	38,661,000
	決算	40,454,827	37,660,506	45,305,928	
支出	予算	39,820,588	40,920,494	47,283,390	38,661,000
	決算	40,454,827	37,660,506	45,305,928	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	0	0	0	

(備考)

21年度の支出について、決算額が予算額を上回った主な要因は、一般修繕において1件当たりが高額な修繕が多数発生したほか、空家修繕の件数が増えたためである。
23年度は計画修繕を実施した他、一般修繕の件数が増加したため、例年に比べ支出が増加している。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区内事業者を活用している ・ 障がい者を雇用している ・ 環境・エコに関して取り組んでいる 	<p>23年度に実施した住宅営繕183件のうち、96件を区内業者に委託している。他区業者に委託した工事内容は、専門業者の修繕が必要なものが多い。</p> <p>また、日常清掃、ごみ置場等清掃業務は(社)荒川区シルバー人材センターにより行っている。</p> <p>障害者雇用率は、2.15%であり、法定水準(2.1%)を上回っている。(平成23年6月1日現在)</p> <p>環境配慮の取組を着実かつ継続的に実行していくため、理事長を「環境最高責任者」とする社内推進体制を整備しており、事務所活動における環境対策として、省エネ行動、再資源化、グリーン購入、エネルギー使用量の把握などに努めている。</p>

総評

[サービス面の評価]

施設の保全、修繕及び改良、住居環境の整備について24時間体制による適切な管理がなされている。また、スケールメリットを活かしコストを低減しつつ区内業者の活用を図っており、良好な維持管理が行われている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である東京都住宅供給公社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも優れた数値であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面・財務面・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 防災都市づくり部 **課** 防災街づくり推進課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立小台橋保育園
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
指定管理者	名称	社会福祉法人 教信精舎
	所在地	荒川区西尾久6-9-7
施設開設年月日		平成16年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成16年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。	

平成23年度の事業計画

- 一人一人の子ども達が「なかま（保育園）・家庭・地域」の中で、健全な心身の発達を図り、共に育ちあえる保育を実施する。
 - ・子ども達の福祉を増進するにふさわしい場（保育園）を常に造って行く
 - ・子ども達一人ひとりが自己を十分に発揮し、健全な心身の発達が図れるよう支援する
 - ・子ども達一人ひとりの状況や発達過程を踏まえ、養護と教育が一体となった保育を行う
 - ・人への愛情、人権を大切にする気持ち、自主自立協調の態度、道徳性の芽生えを培う
 - ・地域の社会資源との連携を図り、保護者及び地域子育て家庭への子育てを支援する
- 防災意識を高める。保護者及び保育園職員そして地域の方々に醸成していく。

◆実施定員 161名

平成23年度の事業実績

日々の保育では、①子ども達の安全第一 ②心地よく過ごせる保育環境 ③子ども達の自主的な活動支援 ④子ども達が保育園生活に楽しさを感じ「明日は何をしようか」と期待する気持ち ⑤子どもも保育士も楽しいと感じる保育、等々を組み入れた保育を展開した。「子ども達の健康、意欲と創造性の力」「話を聞く、相手のことを思いやる気持ち」「助けて友達と遊ぶ力」「音に親しみ豊かな感性を培い、豊かな表現力」「基本的生活習慣の実践」等、各年齢で達成することができた。

◆入所児数 158名（平成24年3月現在）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	222,182,136	232,776,178	232,446,947	230,126,244
	決算	222,160,536	232,758,208	232,534,147	
支出	予算	214,882,136	220,939,178	230,106,086	224,742,706
	決算	214,868,293	219,611,504	228,665,199	
収支	予算	7,300,000	11,837,000	2,340,861	5,383,538
	決算	7,292,243	13,146,704	3,868,948	

(備考)

・資金収支計算書の経常活動による収支を記載

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中高生の保育実習、大学生や保育士養成課程実習、看護師養成実習等を積極的に実施している。また交流を通して地域の方々や施設関係者と連携を図っている。在宅育児親子が利用できる子育て交流サロン事業を実施している（利用者実績13,933人） ・購入については、一部電気製品等を除き、生鮮食品等原則として近隣の商店から購入した。 ・区民の雇用率は45%となっており、積極的に区民を雇用した。 ・障害者は雇用していない。 ・日よけや節水こまの設置等により、節電節水に心がけた。園の畑については、干した雑草で肥料をまかなう等資源循環型の管理を行っている。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人教信精舎は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立上尾久保育園
	所在地	荒川区西尾久8-10-12
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和57年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。
平成23年度の事業計画		
<p>① 乳幼児の健全な心身の発達のために 子どもの健康、安全で情緒豊かな生活環境を準備し、保育園と地域、保護者の交流を深め養護と教育が一体となって、明るく、思いやりと感謝の心をもつ、素敵な子どもを養い育てる。</p> <p>② 保護者が子育てに喜びを感じるために 就労と育児の両立を支援し、子育てが安心して楽しいと感じられる次世代育成支援に向けて、子育てサービスに取り組みながら地域で互いに支え合える施設を目指す。</p> <p>③ 地域との交流や地域子育て支援 地域との交流や子育て支援として、次の事業を行う。 ・園庭の解放 ・ふれあい保育 ・近隣小中学校の体験学習交流や保育実習学生等の受入 ・町会行事との交流 ・子育て相談 ・施設見学会の充実 ・児童虐待防止への取組 など</p> <p>◆実施定員 126名</p>		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が集団生活を過ごす中で、人に対する優しさ、思いやり、いのちの尊さを学び、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう、魅力ある保育を実践し、成果をあげた。また、体育遊びを取り入れ体力づくりにも力をそそいだ。 ・子どもや保護者の生活環境、家族機能、労働形態、社会の状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視した保育を行った。 ・職員については、相互に理解される信頼関係の構築を図り、多くの研修会に参加させ、学びや謙虚な心の修得を図った。 <p>◆入所児数 126名（平成24年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	187,790,000	202,166,000	195,030,000	191,564,000
	決算	193,328,098	201,478,756	194,912,383	
支出	予算	173,578,000	178,796,000	172,596,070	160,420,000
	決算	167,440,868	175,120,581	171,747,840	
収支	予算	14,212,000	23,370,000	22,433,930	31,144,000
	決算	25,887,230	26,358,175	23,164,543	

(備考)

・資金収支計算書の経常活動による収支を記載

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の通所サービスセンターへの訪問や、地域の方々の運動会への招待、交番・消防署等への手作りクッキーの配布など、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・購入先については、食料品や消耗品等原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は5割近くとなっており、積極的に区民を雇用した。 ・法人全体の障害者雇用率は3.2%で、法定水準1.8%を上回っている。なお、当該保育園では障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住さくら保育園
	所在地	荒川区南千住4-9-4
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。	

平成23年度の事業計画

- ・ 基本的な生活習慣を身に付ける、心身の発達を養う
- ・ 物事に対する善悪の判断、人に対する挨拶、感謝の心を育てる
- ・ 人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と豊かな感謝の心を培う
- ・ 生きる力を育て、命を大切にする基礎教育をする
- ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む
- ・ 在宅家庭へのサポートとして、相談、助言、支援、交流する場所を提供すると共に親睦を深め合う
- ・ 親子のふれあいを大切に、愛情が感じられるよう、豊かな感性や創造性を培う
- ・ 地域社会で異年齢交流を推進する

◆実施定員 136名

平成23年度の事業実績

- ・ 子どもや保護者の生活環境、労働形態の違いや社会状況の変化に対応しつつ、子どもの最善の幸せを重視し、取組成果を上げた。
- ・ 職員は多くの研修会に参加し自己研鑽に努め、謙虚な心を修得した。
- ・ 集団生活の中で、人に対する優しさ、思いやり、命の尊さを伝え、さまざまな体験から心豊かに成長できるよう魅力ある保育を実践した。
- ・ 科学あそびや体育あそびも取り入れ、地域活動、異年齢での交流も積極的に実施し保育の質の向上に努めたほか、地域における子育て支援、子育て相談、園庭解放など在宅育児の支援にも努めた。

◆入所児数 136名（平成24年3月現在）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	192,846,000	201,529,000	204,520,000	205,084,000
	決算	196,494,506	204,785,729	204,418,074	
支出	予算	185,868,000	184,882,000	169,166,250	175,543,000
	決算	183,846,387	182,855,035	168,617,368	
収支	予算	6,978,000	16,647,000	35,353,750	29,541,000
	決算	12,648,119	21,930,694	35,800,706	

(備考)

・資金収支計算書の経常活動による収支を記載

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りへの地域の方々の参加や、近隣の小中学生の職場体験の受け入れなど、地域の方々と積極的に交流を図った。保育実習生を受け入れ、職務内容、役割、チームワーク、地域の子育て支援について広く理解を深めてもらった。 ・購入先については、食料品や消耗品等原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は36%となっており、積極的な区民の雇用に取り組んでいる。 ・法人全体の障害者雇用率は3.2%で、法定水準1.8%を上回っている。なお当該保育園では障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立汐入とちのき保育園
	所在地	荒川区南千住8-3-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 東京都福祉事業協会
	所在地	北区王子2-19-21
施設開設年月日		平成12年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる職員のチームワークを築き、一人ひとり自己評価において質の向上を図る。また、昨年度の第三者評価の結果を踏まえ、保育の見直しを前向きに検討し、地域に根付いた保育の基本を忘れずに、子ども一人ひとりの健やかな育ちを保障する。 ・子ども一人ひとりと丁寧に向き合い、受け止め、愛おしい存在として認められる中で、様々な心の動きを体験し、自信・満足感・意欲を持ち、互いに育ち合える保育の援助を行う。 ・保護者との信頼の絆をしっかりと結び安心して働けるように、担任はもとより職員間での細やかな連携・報告・情報開示などを充実させて行く。また、栄養士・看護師等の専門職員の観点からアドバイス・相談にのり、保護者も健康・安全に過ごせるよう援助していく。 ・「地域に根ざした保育園」「みんなで子育て」を原点に、地域の子育て支援・敬老会との交流・父親の育児参加と子育て力の向上のサポートなど職員一同で共通理解を図る。また、小学校との連携を大切に考え個々の育ちの援助に力を注ぐ。 <p>◆実施定員 138名</p>		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの特徴を活かした保育を工夫し、年齢に見合った働き掛けや配慮を心がけ、日々「楽しい」保育を目指した。 ・震災の影響による保護者からの様々な意見等に応じ、前半期は戸外遊びを控え、食材の産地の表示等を行った。 ・事業計画に沿って保育に取り組み、各年齢別の保育活動、給食の提供、安全対策、地域交流など、それぞれの目標を達成した。 <p>◆入所児数 137名（平成24年3月現在）</p>		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	214,423,000	213,056,000	211,053,000	211,156,000
	決算	214,754,592	213,306,399	211,776,785	
支出	予算	196,117,000	203,416,000	208,714,000	206,921,000
	決算	194,770,311	201,718,768	207,413,518	
収支	予算	18,306,000	9,640,000	2,339,000	4,235,000
	決算	19,984,281	11,587,631	4,363,267	
(備考)					
・資金収支計算書の経常活動による収支を記載					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の体験授業の受入れのほか、近隣の保育園、幼稚園との交流を行った。また、老人会との交流では、一緒にふれあいを楽しみ、交流を深めた。 ・購入先については極力区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は35%となっており、積極的な区民の雇用に取り組んでいる。 ・法人全体の障害者の雇用率は1.2%で、法定水準1.8%を下回っている。なお当該保育園では障害者を1名雇用していた。 ・環境に配慮し、リサイクルや節電等に積極的に取り組んでいるほか、園庭に緑を増やすよう努めている。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立はなみずき保育園
	所在地	荒川区南千住8-5-5
指定管理者	名称	株式会社 こどもの森
	所在地	国分寺市光町2-5-1
施設開設年月日		平成18年1月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年1月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容	保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。	

平成23年度の事業計画

- ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す。
- ・ 事業内容としては、認可保育園としての保育事業として、通常保育、11時間開所及び延長保育の実施、一時保育の実施、延長スポット保育の実施を行う。
- ・ また、はなみずきひろば（地域サロン）を実施し、在園児だけでなく、地域の子育て家庭に地域サロン及び園庭を開放し、安全に楽しく、子育て家庭の交流の場を提供する。
- ・ そのほか、小中学生体験学習の受け入れや各種ボランティアの受け入れ、地域交流を実施する。

◆実施定員 171名

平成23年度の事業実績

- ・ 保育所保育指針及びガイドラインに則り、人間尊重の精神を基盤にそれぞれの発達の時期にふさわしい生活を展開しながら、社会性と感性を育て、心身ともに健康で豊かな人間の育成を目指す保育を実施した。
- ・ 認可保育園としての通常保育、11時間保育、延長保育を着実にいき、体操、英語、音楽指導、幼児のワークなど、年齢にあった学習にも注力した。このほか、地域サロンではお話し会や園庭開放など子育て家庭の交流の場を提供するだけでなく、歯科医など専門家を招いての相談会を実施するなど、地域の保育資源としての役割を認識して活動を広げた。
- ・ また小中学生の職場体験、ボランティアの受け入れなどの地域交流を積極的に行った。

◆入所児数 169名（平成24年3月現在）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	218,010,000	221,810,000	227,110,000	227,805,000
	決算	216,801,536	224,692,457	225,686,139	
支出	予算	189,546,000	196,936,000	191,650,000	197,500,000
	決算	188,498,309	193,366,310	190,510,467	
収支	予算	28,464,000	24,874,000	35,460,000	30,305,000
	決算	28,303,227	31,326,147	35,175,672	

(備考)

・資金収支計算書の経常活動による収支を記載

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りや運動会に際しては、近隣の商店街、町会等にも案内を出し、園児や保護者とともに競技を楽しんでもらっている。また、近隣の通所サービスセンターを訪問し世代間交流や近隣の小中学生の職場体験の受入れのほか、町会の文化祭へ参加したり、父親の行事参加も積極的に促している。 ・食材等についてはほとんど区内業者でまかなうようにしている。 ・区民の雇用率は6%となっている。 ・法人全体の障害者雇用率は1.1%で、法定水準1.8%を下回っている。なお、当該保育園では障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、紙等のリサイクルを徹底するほか、水道光熱費に関しては、前年度の数字をもとに予算管理を行うことで節電、節水につなげている。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社こどもの森は、収益性、成長性、安定性、活動性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 子育て支援部 **課** 保育課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立南千住保育園
	所在地	荒川区南千住6-35-3
指定管理者	名称	社会福祉法人 上智社会事業団
	所在地	荒川区町屋4-9-10
施設開設年月日		昭和42年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成23年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成28年3月31日
業務内容		保護者が就労、病気などのため、家庭で子どもを保育できないときに、保護者に代わって保育を行なう。

平成23年度の事業計画

- ・ 保育理念、保育所保育指針に則り養護と教育、そして家庭とが一体となり豊かな人間性をもった子どもを育成する。児童の最善の幸せのために保育園の役割を果たし、目標や方針に共通認識をもち保育課程を見直していく。
- ・ 人と人との関わりの中で、人に対する思いやり、やさしさ、信頼感、自主性と人に対する感謝の心を豊かに培う。
- ・ 生きる力を育て、命を大切にすることを響き合わせ基礎教育をする。
- ・ 安全対策、情報公開の徹底に全力で取り組む。
- ・ 子どもの育ちを支え、相談、助言、支援、交流する場所を提供し、在宅家庭へのサポートと共に親睦を深め合う。地域社会で異年齢交流を結べるように図る。
- ・ 職場の環境作り、職員のスキルアップのための研修に参加し、資質向上を目指す。また、ボランティア（お話し）や実習生依頼（職場体験・保育実習）も受け入れる。
- ・ 家庭や地域社会と連携を図り、子どもが健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるように健全な心身の発達を図る。
- ・ 自己・防犯・安全対策など適正な環境を整え、子どもの状況を把握し、向上に努め地域に根ざした保育運営を充実する。

◆実施定員 170名

平成23年度の事業実績

- ・ 保育所保育指針に基づいた保育計画のもとで、子ども達が現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを目指した保育を行った。
- ・ 子ども達に、家庭や地域での異年齢交流やお年寄りとの交流など、様々な関わりの機会をもたせ、豊かな人間関係を保障し、子ども達が「いたわりや、思いやりの心」の感性を育て、家庭的な雰囲気の中でゆとりある保育を行うことができた。
- ・ 地域の特性を活かし、地域における子育て支援、子育て相談、園庭解放、行事への参加など在宅で育児している方に対し、保育園の機能を生かし支援することができた。

◆入所児数 163名（平成24年3月現在）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算			247,181,360	244,552,000
	決算			247,110,775	
支出	予算			244,511,360	244,552,000
	決算			205,326,177	
収支	予算	0	0	2,670,000	0
	決算	0	0	41,784,598	
(備考)					
・資金収支計算書の経常活動による収支を記載					

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A-
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の特別養護老人ホームに、七夕やお正月、節分時など頻りに訪問し、深い交流の絆が築かれている。また、地域の方々の運動会への招待、地域の方々と積極的に交流を図った。 ・購入先については食料品や消耗品等原則として区内業者を活用するようにした。 ・区民の雇用率は37%であり、積極的な区民の雇用に取り組んでいる。 ・法人全体の障害者雇用率は3.2%で、法定水準1.8%を上回っている。なお、当該保育園では障害者は雇用していない。 ・環境に配慮し、リサイクル、節水、節電等に積極的に取り組んでいる。

総評

[サービス面の評価]

関係法令や、荒川区との管理運営協定に基づき、保育サービスの実施、施設の維持管理など、適切に業務を実施した。また、利用者の評価も高く、良好な運営を行っている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である社会福祉法人上智社会事業団は、収益性、安定性、活動性・健全性がいずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署	部	子育て支援部	課	保育課
--------	---	--------	---	-----

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	南千住駅東口自転車等駐車場
	所在地	荒川区南千住四丁目1番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-2
施設開設年月日		平成14年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積:2247.98㎡ ・収容台数: 自転車 1,485台(定期利用1,285台、一時利用200台) 原動機付自転車 25台(定期利用20台、一時利用5台)	
平成23年度の事業計画		
1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として次の事業を行う。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽の販売サービスを行う。		
平成23年度の実績		
1 利用者を適切な場所に誘導し、高齢者や子供のせ自転車等の入出の補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（券売機修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）、消防設備保守点検（年2回）を行った。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 ・利用者サービスのため、年末年始も営業した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽の販売サービスを行った。 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 113.5%（平成24年3月31日現在） 一時利用率（利用者数／収容台数） 37.5%（1日平均）		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	32,679,000	32,766,000	33,553,705	40,140,535
	決算	42,395,102	38,209,410	36,046,270	
支出	予算	29,441,000	29,441,000	29,478,705	30,089,535
	決算	26,727,549	25,595,744	26,302,244	
収支	予算	3,238,000	3,325,000	4,075,000	10,051,000
	決算	15,667,553	12,613,666	9,744,026	

(備考)

南千住駅周辺の民営駐輪場の増加により、平成23年度は収入が減少した。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民を優先的に雇用した。 ・ 障害者雇用率は、法定水準（1.8%）を上回る2.25%となっている。 ・ 環境への配慮として、駐輪場内の蛍光灯を間引いたり、エアコンの使用を控えるなど節電対策を実施した。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 防災都市づくり部 課 土木管理課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	センターまちや自転車駐車場
	所在地	荒川区荒川七丁目50番9号
指定管理者	名称	サイカパーキング株式会社
	所在地	東京都中央区日本橋小網町7番2号
施設開設年月日		平成8年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成24年4月1日～平成27年3月31日
業務内容		自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積:1437.68㎡ ・収容台数: 自転車1,407台(定期利用1,200台、一時利用207台)
平成23年度の事業計画		
1 利用者の誘導、案内を行う。 2 利用承認や料金収納を適切に行う。 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。自衛消防訓練を実施する。 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。 7 自主事業として主に次の事業を行う。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場する。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出す。 ・月間（隔月）自転車対策キャンペーン（あいさつ強化月間等）を行う。		
平成23年度の事業実績		
1 利用者を適切な場所に誘導し、高齢者や子供のせ自転車等の入出補助を行った。 2 利用承認や料金収納を適切に行った。 3 施設の修繕等を適切に行った（自転車ラック修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年3回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年4回）を行った。消防設備保守点検は、センターまちや管理組合により行われた。 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。 7 自主事業として次の事業を行った。 ・利用者サービスのため、年末年始も開場した。 ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。 ・雨合羽・サドルの汚れ拭きタオルを貸出した。 ・月間（隔月）自転車対策キャンペーン（あいさつ強化月間等）を実施した。 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 109.8%（平成24年3月31日現在） 一時利用率（利用者数／収容台数） 129.0%（1日平均）		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	44,013,000	44,013,000	45,314,099	44,733,390
	決算	43,553,100	41,942,800	44,602,490	
支出	予算	38,662,000	38,863,000	39,924,565	40,377,521
	決算	38,482,652	38,173,016	39,448,257	
収支	予算	5,351,000	5,150,000	5,389,534	4,355,869
	決算	5,070,448	3,769,784	5,154,233	

(備考)

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民を優先的に雇用した。 ・ 障がい者雇用率は、法定水準（1.8%）を上回る1.81%となっている。 ・ 環境への配慮として、駐輪場内のエアコンの使用を控えるなど節電対策を実施した。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、業務基準書を上回る人員の配置等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者であるサイカパーキング株式会社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 防災都市づくり部 課 土木管理課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	日暮里駅前自転車駐車場
	所在地	荒川区西日暮里二丁目24番2号
指定管理者	名称	株式会社ソーリン
	所在地	東京都足立区六町4-12-2
施設開設年月日		平成20年4月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成20年4月1日
指定期間		平成23年4月1日～平成26年3月31日
業務内容	自転車等駐車場の利用の承認・不承認、利用料金の收受・減額及び還付、利用承認の取消し、施設の維持管理に関する業務等を行う。 ・延床面積：1706.98㎡ ・収容台数： 自転車 1,270台（1,100台、一時利用170台）	

平成23年度の事業計画

- 1 利用者の誘導、案内を行う。
- 2 利用承認や料金収納を適切に行う。
- 3 施設修繕や保守点検（コンベア、ゲートシステム等）を行う。
- 4 施設の清掃・巡回を毎日行う。
- 5 危機管理マニュアルや緊急連絡網を管理棟に設置する。また、本社との連絡体制を確立する。防火管理責任者による自衛消防訓練を実施する。
- 6 接遇研修及び定期ミーティングを行う。
- 7 自主事業として次の事業を行う。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も営業する。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施する。
 - ・雨合羽の販売サービスを行う。
 - ・自転車の軽微な修理サービスを行う。

平成23年度の事業実績

- 1 利用者を適切な場所に誘導し、高齢者や子供のせ自転車等の入出の補助を行った。
- 2 利用承認や料金収納を適切に行った。
- 3 施設の修繕等を適切に行った（システム修繕等）。また、ゲートシステム保守点検（年2回）、自転車搬送用コンベア保守点検（年2回）、消防設備保守点検（年2回）、エレベーター保守点検（毎月）を行った。
- 4 施設の清掃・巡回を毎日行った。
- 5 危機管理マニュアル、緊急連絡網等を管理棟へ設置した。本社との連絡体制も24時間体制で確立されている。また、自衛消防訓練も実施した。
- 6 接遇や個人情報保護等に関する研修を行った。また、定期ミーティングを実施した。
- 7 自主事業として次の事業を行った。
 - ・利用者サービスのため、年末年始も営業した。
 - ・一時利用者への2時間まで無料サービスを実施した。
 - ・雨合羽の販売サービスを行った。
 - ・自転車の軽微な修理サービスを行った。
- 8 定期利用登録率（登録者数／収容台数） 48.4%（平成24年3月31日現在）
 一時利用率（利用者数／収容台数） 118.8%（1日平均）

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	31,815,000	31,815,000	18,257,090	19,736,390
	決算	17,519,770	17,937,110	20,744,860	
支出	予算	28,686,000	28,686,000	26,973,090	26,631,390
	決算	24,691,839	26,074,991	25,849,703	
収支	予算	3,129,000	3,129,000	-8,716,000	-6,895,000
	決算	-7,172,069	-8,137,881	-5,104,843	

(備考)

日暮里舎人ライナー開通等の影響により、収支決算は支出超過となっている。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民の雇用 ・ 障害者雇用率 ・ 環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区民を優先的に雇用した。 ・ 障害者雇用率は、法定水準（1.8%）を上回る2.25%となっている。 ・ 環境への配慮として、駐輪場内の蛍光灯を間引いたり、エアコンの使用を控えるなど節電対策を実施した。

総評

[サービス面の評価]

利用者への誘導・補助や清掃などを確実に行うとともに、研修やミーティングにより接遇等の向上を図り、快適な施設の管理運営に努めている。また、年末年始を含めた毎日の開場や、2時間までの利用無料制度の導入、高齢者・障がい者専用場所の確保等、利用者サービスの向上に努め、利用者の満足を得ている。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社ソーリンは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 **部** 防災都市づくり部 **課** 土木管理課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立町屋文化センター
	所在地	荒川区荒川7-20-1
指定管理者	名称	財団法人 荒川区地域振興公社 (現：公益財団法人 荒川区芸術文化振興財団)
	所在地	荒川区荒川7-20-1
施設開設年月日		昭和63年11月1日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日
業務内容	<p>生涯学習の推進と地域文化の振興を図ることを目的として、文化・カルチャー講座の開催、区民の学習・文化活動に役立つ情報提供や相談業務、施設の案内や利用の手引きの作成等を行う。</p> <p>【施設概要】 会議室4室(33人～45人)、多目的ホール(154人)、音楽練習室、ふれあい広場</p>	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・区民の学習・文化活動の場を提供し、生涯学習の推進と地域文化の振興を図る。 ・カルチャー講座では絵画や音楽、外国語など幅広いジャンルの講座を実施する。 ・自主事業として、文化・スポーツ界等の著名人を招いてイベントを開催する。 ・平成18年度から実施してきた利用者の意見箱について、集約・分析等を図り、諸意見を反映できるようなシステムを構築する。 ・社会教育関係団体等を対象とする施設利用料・その他の付帯設備利用料及び利用料の減額は平成22年度の額と同様とする。 ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施する。 ・職員研修を実施する。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー講座では575講座を実施し、受講者数は5,289人であった。 ・23年度は自主事業として「なないろひろば」を開催し、講演会やミニコンサート等を実施した。また、「1日文化体験フェア」では著名人を招いての講演会や体験講座等を行った。 ・施設利用料・付帯設備利用料及び利用料の減額は平成22年度の額と同様とした。 ・貸出施設及び館内の案内・施設等問合せ対応・各種講座・清掃業務・機械設備等点検業務を適切に実施した。 ・22年度に担当職員がクレーム対応研修、電話対応研修に参加し、23年度は研修内容を踏まえて窓口の職員への指導を行った。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	37,516,000	37,503,211	36,608,138	36,207,000
	決算	37,981,756	36,602,460	36,291,650	
支出	予算	37,516,000	37,503,211	36,608,138	36,207,000
	決算	36,250,485	35,869,257	34,793,793	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	1,731,271	733,203	1,497,857	

(備考)

平成23年度は震災の影響による夜間利用中止等のため、収入減となった。支出は縮減努力により、予算内に抑えている。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区に縁のあるアーティスト等講師を招き、施設利用者や区民が無料で鑑賞できる「なないろひろば」事業を毎月実施している。さらに23年度は「1日文化体験フェア」を実施した。 ・修繕、消耗品の購入等、区内業者に配慮している。 ・雇用者数が少人数であるため障害者の雇用は現状では困難であるが、雇用できる体制作りに向けて努力していく。 ・ふれあい広場について、利用のない時間帯は消灯・減灯する等、節電に配慮している。コピー用紙は古紙パルプ配合率80%以上のものを使用する等、環境配慮に努めている。

総評

[サービス面の評価]

施設利用及び職員対応についてアンケートを実施し、調査・分析を行っている。また、無料で気軽にミニコンサート等を楽しめる「なないろひろば」、文化活動に親しむきっかけづくりとして「1日文化体験フェア」を実施した。初めての試みである「1日文化体験フェア」では、講演会や体験講座等を行い、延べ1,300名の参加者であった。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である財団法人荒川区地域振興公社は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 教育委員会事務局 課 社会教育課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要

施設名	名称	荒川区立生涯学習センター
	所在地	荒川区
指定管理者	名称	(株)読売・日本テレビ文化センター
	所在地	江東区清澄1-2-1
施設開設年月日	平成9年7月1日	
現在の指定管理者による運営開始年月日	平成18年4月1日	
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	
業務内容	<p>区民の生涯にわたる学習の場の提供や多様化する学習要望への対応として、区民のニーズを考慮しながら講座を開催するとともに、生涯学習の情報提供、学習相談など、学習活動の推進を図る。</p> <p>【施設概要】 会議室5室(30人～80人)、音楽室(40人)、多目的室(60人)、学習室、情報提供コーナー、体育館、多目的広場</p>	

平成23年度の事業計画

- ・「区民カレッジ」においては、前年度の受講者の声を踏まえ、より区民のニーズに応えた講座展開を行うとともに、新たな講座の企画も行うことで、より幅広い区民に生涯学習の機会を提供し、区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する。
- ・「IT講習会」は、パソコンの入替えによりバージョンが上がったことに伴い、より新しいパソコンに対応した講座を構成し、区民のニーズに応じていく。
- ・日常の受付業務において、職員の研修・教育に力を入れるとともに、区民の要望を迅速かつ積極的に取り入れ、区民が信頼し安心して学べる環境づくりを行う。
- ・施設の老朽化対策について、財政状況等を考慮しながら区民からの改善要望が多かった件を優先し改善していくことで、より安全で快適なセンターの実現を図る。

平成23年度の事業実績

- ・区民カレッジについて、前年度までは、募集を行うと数日のうちに満員になる盛況ぶりの反面、受講者層の固定化が見受けられた。今年度はより幅広い区民に受講していただくため、新たな分野やテーマの講座を実施し、その結果、東日本大震災に伴う節電等による施設使用の制限がある中、年間受講者数は前年度比約20人増の3061人となった。また特別講座を含めた全ての講座で定員を超える申し込みがあったが、夏季の暑い日や雨天時等には欠席者が多かった。(講座実施数：57回)
- ・「IT講習会」については、東日本大震災の影響により夜間の講習を10回休講した。しかし新しいパソコンの設置による影響もあり、受講者数は前年度比約7%増加した。区報やホームページを活用した周知も行った。(41講座・受講者数833人)
- ・日常の受付業務において、「トラブルゼロ」を目指し、随時ミーティングを行い、事例検証と情報共有を行っていくことで、接遇の向上に努めた。

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	64,150,000	64,586,000	62,300,000	62,454,000
	決算	64,111,385	64,842,652	62,276,431	
支出	予算	64,150,000	64,586,000	62,300,000	62,454,000
	決算	63,945,028	62,871,895	62,726,521	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	166,357	1,970,757	-450,090	

(備考)

平成23年度は震災の影響による夜間利用中止等のため、収入減となった。
また人員体制の見直しにより、所長の勤務がフルタイムに戻ったため人件費のうち常勤給与が増加した。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	B+
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の盆踊り大会に施設提供する等地域に貢献している。 ・区内業者を積極的に活用するよう配慮している。 ・法人の障害者雇用率は1.26%であるが、生涯学習センターにおいては、現在障害者は雇用していない。 ・エアコンの推奨設定温度の徹底や、また緑のカーテンの実施など区民や利用者に喜ばれるエコ活動を行っている。

総評

[サービス面の評価]

- ・区民カレッジの受講者は全ての講座において定員を超える申し込みがあり「区民の学習意欲を刺激し、豊かな人生の実現に貢献する」という事業計画を実現している。
- ・「トラブルゼロ」を目指し、随時ミーティングを行い、事例検証と情報共有を行っていることで日頃から職員全体で接遇の向上に努めている。
- ・アンケート結果においては、受付、電話対応に関する設問の回答について「悪い」という回答が0%になっているが、今後は更に「良い」の評価が増えるよう努力を求める。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社読売・日本テレビ文化センターは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

施設管理、財務・労務面は良好であった。一方で接遇面は、アンケート等から課題があると考えられるが、研修等行うことにより改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に進められていたと評価できる。

担当所管部署 **部** 教育委員会事務局 **課** 社会教育課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川区立清里高原ロッジ・荒川区立清里高原少年自然の家
	所在地	山梨県北杜市高根町清里3545-5
指定管理者	名称	(株)ニッコクトラスト
	所在地	東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル4階
施設開設年月日		昭和58年4月15日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成18年4月1日
指定期間		平成21年4月1日～平成24年3月31日
業務内容	<p>荒川区民、在勤在学者及びその家族、区立小中学校の移動教室等の利用者が、自然観察等が行えるように賄業務や宿泊業務等のサービス提供と、利用者が快適に過ごせるように清掃業務や機械設備等の保守点検等の施設維持を行う。</p> <p>【施設概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員：ロッジ35人、少年自然の家200人 ・ロッジ：宿泊室12畳5室、9畳(ベッド)1室、 研修室洋間55㎡、談話室、食堂、浴室 ・少年自然の家：宿泊室24.5畳10室、研修室24.5畳1室、 リーダー室10畳2室・8畳2室、食堂、 浴室、体育室 ・開設期間(平成23年度)：4月29日(金)～11月6日(日) 	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・管理フロント業務(清里の気温や天気等のリアルタイム情報提供、利用者とのコミュニケーション向上等)、賄業務(食事選択性の導入、特別料理の提供)、清掃業務、機械設備等の保守点検業務を適切に実施する。 ・自主事業としてバスツアーを企画し、利用者の増加を図る。 ・荒川区内の都電停留所(三ノ輪橋停留所は除く)へのPRポスターの掲示や、区内の団体等へのPR活動を行い、利用者の増加を図る。 ・施設周辺に小売店がないため、施設利用者の利便性を確保し利用者サービスの向上を図るため、清里高原ロッジ食堂内に、引き続き飲料やビール等の自動販売機を設置する。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・バスツアーを9月に1回、10月に2回企画した。9月に4件の問い合わせがあったものの、催行人員に至らず中止となった。ホームページでツアーの周知をしたり、9月に問い合わせがあった方に10月のツアーの案内をしたが、10月もツアーを催行できなかった。 ・自動販売機はご利用者の要望に応え、500mlペットボトルの種類を増やしたり、販売機設置場所を分かりやすく周知したことにより、多くの方にご利用いただいた。 ・料理は申込時の確認後、利用1週間前に再確認した。フェア食(特別提供食)を含めて夕食は季節毎に変更し、朝食は和食、洋食の選択が可能であり、利用者に好評だった。 ・一般の施設利用人数は昨年度より208人減、学校利用人数は1013人減となった。震災の影響による旅行自粛により、4月～6月の利用が例年に比べて少なかったことが原因と考えられる。 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	76,711,239	76,730,000	75,607,000	75,830,000
	決算	74,962,594	77,703,529	74,553,556	
支出	予算	76,710,120	76,730,000	75,607,000	75,830,000
	決算	70,193,131	74,253,089	73,586,368	
収支	予算	1,119	0	0	0
	決算	4,769,463	3,450,440	967,188	

(備考)

・平成23年度は、東日本大震災の影響による利用者減や、厳冬の影響による重油使用量増加など、非常に厳しい状況の中、利用者サービス充実や節電などの効率的な施設運営に努めた。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	A
5 法人決算	A
6 労務	A
7 地域との関わり等	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・障害者雇用率 ・環境やエコに関する取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数の増加と地域との連携を強化するため、施設所在地の北杜市や関係機関に働きかけ、市内のイベントの情報や写真の提供を受けて、荒川区のホームページに掲載している。 ・施設所在地が山梨県北杜市にあるため、購買先や再委託先について区内業者に配慮することは難しい。地元での調達については配慮している。 ・法人の障害者雇用率は1.66%である。

総評

[サービス面の評価]

開設前や日常清掃の徹底、季節に合わせた食事の提供等、丁寧なサービスを心がけており、良好なサービスが提供されていると評価できる。また、自動販売機を500mlペットボトルを販売できるものに入れ替える等、利用者からの要望に応じていると評価できる。今後も経費削減努力を怠ることなく、利用者数増加のための自主事業の更なる工夫や、利用者サービスの向上に努め、指定管理者の法人としてのスケールメリットを生かした経営改善努力を期待したい。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、適正であり経費節減努力を行っている。また指定管理者である株式会社ニッコトラストは、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。また労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っている。

[総合評価]

サービス面、財務・労務面ともに良好であり、指定管理業務は適正であったと評価できる。

担当所管部署 部 教育委員会事務局 課 社会教育課

平成23年度 指定管理者 実績評価結果表

施設概要		
施設名	名称	荒川総合スポーツセンター
	所在地	荒川区南千住6-45-5
指定管理者	名称	TM共同事業体
	所在地	代表企業:株東京アスレティッククラブ 中野区中野2-14-6
施設開設年月日		昭和60年6月2日
現在の指定管理者による運営開始年月日		平成19年4月1日
指定期間		平成22年4月1日～平成25年3月31日
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツセンターの施設及び附帯設備の使用に関する業務 ・スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に関する業務 ・利用の承認及び利用の不承認に関する業務 ・利用料金の収受、減免及び還付に関する業務 ・利用承認の取消し等に関する業務 ・スポーツセンターの施設等の維持管理に関する業務 ・その他スポーツセンターの管理に関し、荒川区教育委員会が必要と認める業務 	
平成23年度の事業計画		
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者に対する受付や料金徴収業務、スポーツ施設予約システムによる利用者登録手続きや予約代行業務、日常清掃業務や定期清掃業務の適切な実施をする。 ・温水プールやトレーニングルーム、卓球、バドミントンなどの個人利用の実施や、大小体育室の団体利用対応、スポーツ教室の実施、区主催イベントへの協力等を実施する。 ・利用者のニーズを把握するためのアンケートを実施し、アンケートの結果を施設運営や教室事業に反映し、展開する。 		
平成23年度の事業実績		
<ul style="list-style-type: none"> ・団体利用者数 214,771人(前年度比 30,086人) ・個人利用者数 130,202人(前年度比 363人) ・利用料免除者 47,695人(前年度比 ▲3,514人) ・教室受講者数 131,145人(前年度比 4,519人) <p><教室・講習会></p> <ul style="list-style-type: none"> ①固定会員制教室(通年制、定期生教室) (スポーツ教室／17種類・30コース)(水泳教室／22種類・69コース) ②自由会員制教室(1回制教室) (スポーツ教室／16種類・28コース)(水泳教室／3種類・8コース) ③短期教室(短期教室、イベント教室) (スポーツ教室／4種類・4コース)(水泳教室／4種類・7コース) ④スタジオ定期制教室 (21種類・29コース) 		

施設決算状況

年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
収入	予算	251,858,610	244,677,613	250,106,981	263,954,808
	決算	239,164,236	239,018,891	241,238,480	
支出	予算	251,858,610	244,677,613	250,106,981	263,954,808
	決算	238,692,061	239,967,691	244,431,606	
収支	予算	0	0	0	0
	決算	472,175	-948,800	-3,193,126	

(備考)

・震災の影響による45日間の夜間休館のため予算に対する収入の減少、および平成23年度から指定管理者へ新たに賦課された事業所税(約745万円)による支出の増加があった。

評価項目	評価
1 適切な施設運営・維持管理	A
2 区民サービス・利用者意見	A-
3 危機管理・苦情・事故等の対応	A
4 収支状況・縮減努力	B+
5 法人決算	A
6 労務	A-

7 地域との関わり等

<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働内容 ・区内事業者の活用 ・区民の雇用 ・環境やエコに関しての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・荒川区体育協会の理事会に参加し、区の体育団体と連携を取っている。 ・修繕に関しては、メーカーによる修繕を除き、区内業者に発注しており、修繕費の6割以上が区内業者となっている。 ・職員(非常勤職員含む)のうち25%程度である。 ・震災後の節電が求められるなか、平成23年度の電気使用量22年度比25%以上を達成した。
---	---

総評

[サービス面の評価]

開設から28年を迎え、施設の老朽化が進行しているが、限られた予算で利用者の安全、利便性を優先した修繕、設備管理を行っており、適切な施設管理を行っている。

運営においては、19年度に指定管理者が設置したスタジオ施設での教室や、新規教室、23年度から運営が始まったキッズルーム教室の実施など教室の充実を図り、教室受講者数は前年度比4500人の増加となっている。利用者増加への努力を評価できる。

23年度は震災の影響により4月から1ヵ月半午後18時までの夜間休業となり、利用者が減少したが、その後の指定管理者の努力により例年通りの団体、個人利用者数に回復した。

[財務・労務面の評価]

財務面について、施設の会計手続や予算管理は、概ね適正であり経費節減努力は行っているが、一部の経費について、改善の必要が認められた。また指定管理者であるTM共同事業体は、収益性、成長性、安定性、活動性・健全性等いずれも良好であり、安定的な財務力を有している。

労務面については、雇用契約条件・実施内容、健康診断受診状況等、法令に準じた運用を適正に行っているが一部改善の必要が認められた。

[総合評価]

サービス面、労務面は良好であった。一方で財務面は、「適切な会計手続がなされている」という視点において一部の経費について、適切に整理されていない科目があるが、改善の見込みがあり、全体として指定管理業務は確実に行われていたと評価できる。

担当所管部署 部 教育委員会事務局 課 社会体育課